

射撃ノ復習

武器携帶教練

軍刀ノ操法

其ノ他前週ニ同シ

第十八週

大勒教練

火曜日轡鎖ヲ装ス

最初ハ大小勒韁ヲ兩手ニ分執セシメ週ノ終リニ左手ニ三韁ヲ右手ニ一韁ヲ執リ且ツ内

方大勒韁ノミ輕ク感セシム駈歩ヨリ駐立、駐立ヨリ駈歩

駈歩ノ伸暢短縮

駈歩ノ手前變換

徒歩武器携帶教練

最モ確實ナル武器ノ操法

部班ノ齊一ナル姿勢行進

分隊教練ノ準備トシテ整頓ヲ行ハシム

散兵教練

復習

横隊ヨリスル散開法ヲモ行フ

其ノ他前週ニ同シ

第五章 犯罪豫防方案

歩兵少佐 堤 桃 藏

一 緒 言

戦勝ノ月桂冠ハ軍人精神ノ充溢セル軍隊ニ歸スルコト最近戦役ノ證明シタル所ナリ蓋シ
戦鬪ノ勝敗ハ形而下ノ問題ヨリモ形而上ノ問題ナリトハ吾人ノ豫期シタル所ナリシト雖
モ其ノ確然疑フヘカラサルモノ實證ハ實ニ今回ノ大戦役ニ於テ之ヲ得タリト謂フヘシ夫
レ然リ吾人ノ未來ノ戦争ニ於テモ到底敵ニ對シテ優勢ナル兵力ヲ向クルハ難カルヘシ想
フニ吾人ハ何レノ戦場ニ於テモ常ニ劣等ナル兵器ト寡少ナル兵力トヲ以テ而カモ能ク戦
捷ノ榮譽ヲ獲得スルノ覺悟ナカルヘカラス精神教育ノ必要益々深大ヲ加ヘ來レリト謂フ
ヘシ翻テ方今社會ノ風潮ヲ觀察スルニ人心日ニ非ニシテ德行月ニ廢レ這般ノコト寔ニ言

フニ忍サルモノアリテ我軍事教育ト相容レサル周圍ノ事情ハ日夜吾人ノ耳朵ニ警報ヲ傳ヘテ其ノ奮起覺醒ヲ促スコト急ナリ此ノ風潮ニ逆行シテ益々嚴肅ナル軍紀風紀ヲ維持セントスル豈困難ノコトナラスヤ故ニ吾人ハ全力ヲ傾注シテ其ノ目的ヲ達成シ上ハ以テ聖旨ニ副ヒ奉リ下ハ以テ國民道義ノ基礎タラサルヘカラスト信ス這般偶々懲治隊ニ關シテ講話施行ノ命ニ接シタルヲ以テ乃チ其ノ職務執行ニ關シ研究シテ得タル所ヲ基礎トシテ之ヲ立案シ題シテ「犯罪豫防方案」ト云フ素ヨリ下官一個ノ私見ニシテ述フル所亦其ノ正鵠ヲ得サルモノ多カルモ又以テ我軍事教育ノ爲涓滴ノ參資ヲ供スルヲ得ハ誠ニ光榮トスル所若シ又幸ニ本研究ニ關シテ更ニ四方識者ノ高見ト叱正トヲ得ハ當ニ下官ノ榮譽トスルノミナラス洵ニ我カ軍事教育界ノ幸福ナルヘシ

一二 懲治卒ノ研究

其一 陸軍懲治隊設置ノ目的

懲治卒ノ研究ヲ始ムルニ先テ陸軍懲治隊ハ如何ナル爲メ設置セラレアルカヲ述ヘントス蓋シ此ノ目的ハ既ニ條例ニ明示セラレアルモ往々之ヲ夫ノ軍獄ト同一視セルモノアリ故ニ之ヲ説明シ置クモ亦無用ノコトニアラサルノミナラス懲治卒教育ノ方針又實ニ是ニ由リテ決定セラレヘキモノナレハナリ即チ目的ニニアリ曰ク

第一 屢々刑罰ニ觸レ軍紀ヲ紊亂スル不良兵卒ヲ隔離シ軍紀ノ健全ヲ計ルコト

第二 隔離シタル不良兵卒ヲ懲治教育シテ悔悟改悛セシムルコト

第一ハ即チ普通軍隊ニ於テ屢々刑罰ニ觸レ軍紀ヲ紊シ或ハ良兵卒ヲ誘惑スルカ如キ不良兵卒ヲ陸軍懲治隊ニ編入隔離セハ既ニ其ノ目的ヲ達シタリト謂フヲ得ヘク而シテ此ノ編入ニ關スル查覈ハ各隊ノ責任ナルヲ以テ茲ニ云々スルノ要ナキカ如キモ下官等ノ考フル所ハ情實ニ流ルルコトナク常識ヲ以テ判定セハ編入スヘキ兵卒ノ程度ハ概ネ正鵠ヲ得ルナラント信ス若シ情實等ノ爲メニ軍紀ヲ紊亂スル不良ノ徒ヲ編入セサルガ如キハ懲治隊設置ノ目的ニ反スルモノナラン

第二ハ全ク我懲治隊ノ責任ナリ故ニ能ク此ノ責ヲ盡シテ良好ノ結果ヲ得ンカ爲メニ吾人ハ須ク全力ヲ傾注セサルヘカラス而シテ其ノ良好ノ成績ヲ期スル爲ニ施シ來リタル方法手段ヨリ實ニ不良兵卒ノ感化手段ニシテ又犯罪豫防ノ方案タルヲ失ハス然リ而シテ此ノ目的ヲ達センニハ懲治卒個人ノ心理状態ヲ審ニシ之ニ適應セル教育ヲ施スヲ肝要ト信ス先哲謂ヘリ其ノ人ヲ知ルハ既ニ教育ノ大半ヲ達成セリト味フヘキ言ト謂フヘシ

其二 個人状態ノ調査

懲治卒教育ノ目的ヲ達成センカ爲ニ其ノ個人状態ノ調査ヲ必要ナリト信スルコトハ既ニ之ヲ述ヘタリ果シテ其ノ信スル所ニシテ正當ナリトセハ個人状態ノ調査ハ懲治隊ニ於ケル主要ノ業務ナリ實ニ懲治卒ヲ悔悟改悛セシムルノ端緒ニ入ルト否トハ繫リテ個人状態ノ調査ニアリト信ス何トナレハ個人状態ヲ審ニセスシテ之ニ對スルニハ恰モ暗夜ニ鐵砲ヲ放チ症狀審ナラサル患者ニ投藥スルト一般ナリ此ノ如キハ其ノ効能ヲ豫期スルコト能ハサルノミナラス其ノ危険實ニ計リ難シ然リ而シテ部下ヲ教育シ且之ヲ統御スルニ個人

状態ヲ審ニスルノ必要ナルコトハ深く自信セル所ニシテ又識者ノ齊シク首肯セル所ナルヘシ下官曾テ中隊長奉職中當時ノ聯隊長タリシ門司少將閣下ヨリ特ニ訓示セラレタルコトアリ曰ク初年兵入營ノ際ニハ個人状態ノ調査終ラサレハ其ノ教育ヲ始ムル勿レト是ニ於テ所信倍々堅固トナリ爾後奮勵シテ教育上個人状態ニ重キヲ置クコトニ努力シ大ニ効果ヲ發揮セリト信セリ然レトモ今日懲治卒ニ對スル程度ヲ以テ昔日ヲ追想スル時ハ自ラ其ノ淺薄ナリシニ驚カスンハアラス實ニ初年兵入隊ノ際ハ夜以テ日ニ繼キ個人状態ノ調査ヲナシ此ノ時ニ於テ第一著ノ精神教育ヲ施シ中隊長ノ意圖ヲ彼等ニ知ラシムルコト肝要ナリ是彼等カ精神ノ鎖鑰ヲ掌握スルモノニシテ將來彼等ヲシテ中隊長ヲ信賴セシムルコトヲ得ヘキヲ以テナリ抑々頑迷不靈ノ徒ノミヲ收容スル懲治隊ハ時々血ヲ見ルコト免レサラントハ當時吾人ヲシテ豫想セシメタリシニ圖ラサリキ其ノ事ノミナラス其ノ多數ノ懲治卒ハ普通ノ兵ト大差ナク勉勵シツツ在ルハ隊附職員ノ熱誠ニ由ルト雖モ個人状態ヲ調査シテ彼等ノ鎖鑰ヲ握リアルカモ亦尠少ナラサルヲ信ス是ニ於テ吾人ハ一般ノ誤解

ヲ避ケン爲ニ更ニ一言ヲ置カントス懲治隊ノ目的ヨリシテ一般兵卒ト軒輊ナキ迄ニ至レル良兵即チ改悛ノ狀アル者ヲ何カ故ニ復隊セシメサルヤノ問題ナリ其ハ蓋シ左ノ理由ヲ以テナリ

一 改悛ノ情アリト雖モ其ノ決心堅固ナルヲ確認スルニ至ラサル者ハ酒色賭博其ノ他種々ナル誘惑物ノ爲ニ復隊後數日ヲ出テスシテ再ヒ機關ノ螺子ニ弛ミヲ生シ遂ニ修理前ノ舊態ニ復スルノ虞アリ好シ辛フシテ舊態ニ後退セストモ隨時弛緩ヲ生スルコトアルヲ以テナリ

二 本人改悛ノ實ヲ舉ントスルモ社會ハ舊惡ヲ知テ之ヲ容レサルカ故ニ其ノ排斥ヲ受ケテ衣食住ニ窮シ再ヒ不良ノ徒ニ交ラサルヲ得サルニ至ル而カモ社會ヲシテ之ヲ厚遇セシメントスルカ如キハ一般道德ノ上ヨリ因襲ノ習俗ヨリ到底不可能ノコトナレハナリ

斯クノ如クナルヲ以テ未タ改悛堅固ナラサルモノハ地方ニ出テ時々怠慢放縱ニ流ルルコ

トアルヘク又之ヲ軍隊ニアラシメハ時々軍紀ヲ脱逸スルコトアルヘシ其ノ嚴肅ヲ維持セシニハ必ス相當ノ制裁ヲ加ヘサルヘカラス既ニ制裁ヲ受クレハ彼ハ再ヒ舊態ニ後退シ自暴自棄又救フヘカラサルニ至ルヘキコトアルヲ以テナリ茲ニ參考ノ爲メ滿期歸郷者ノ成績ヲ左ニ示サム

- 一 他人ニ迷惑ヲ及ホササル者 百分ノ六五
 - 二 依然放縱無頼ナル者 百分ノ二五
 - 三 地方人ノ排斥ヲ受ケ已ムヲ得ス再犯ニ陥リタル者 百分ノ一〇
- 次ニ懲治隊ニ於ケル個人狀態調査ニ關スル主要ノ事項ヲ示サム

- 一 原籍、住所、族籍、年齢
- 二 家族ノ系統、財産、職業
- 三 宗教
- 四 入營前ノ經歷

- 五 地方ノ風俗
 - 六 地方尙武ノ景況
 - 七 嗜好品
 - 八 入營前ノ賞罰
 - 九 入營前後ノ所感
 - 十 入營後ノ最大苦樂
 - 十一 入營後ニ於ケル犯罪ノ原因及始末
 - 十二 入監中ノ所感
 - 十三 懲治隊へ編入ヲ達セラレタル時ノ所感
 - 十四 金錢物品貸借ノ狀況
 - 十五 將來ニ關スル決心
- 以上ノ事項ヲ調査スルニハ先ツ編入具申書、處刑ノ判決文、監獄長ノ行狀通報、護送途

中ノ景況書、本人ノ所持セル私信等ニ據リ豫メ其ノ要點ヲ研究シ置キ次テ本人ニ就キ調査ス之カ爲ニハ先ツ第一ニ誠心ヲ以テ答フヘキ事ヲ約シ然ル後事實調査ニ移ルモノトス斯ノ如クシテ機敏熱心事ニ當リ彼等カ心衷ヲ洞察スル時ハ概ネ個人ノ素質、犯罪ノ原因及誘因等ヲ判斷スルコトヲ得ヘシ

以上述フル所即チ下官カ個人心理狀態研究ノ具體的成案ノ一般ト爲ス若シ夫レ其ノ機敏ノ間ニ閃キ渡ル個々性狀ノ研究ニ至リテハ口能ク之ヲ言フ能ハス筆能ク之ヲ傳フル能ハス孫子ノ所謂微乎、微乎至於無形ノ類ナカラシカ

其二 懲治卒ノ素質

明治三十七、八年戰役後當隊ヲ開設セラレテヨリ今日ニ至ル迄ノ懲治卒編入人員ハ百八十名ニシテ前段ニ於テ述ヘタル要項ニ基キ其ノ個人狀態ヲ調査シテ得タル結果ハ概ネ一種ノ精神病者ト推斷スルコトヲ得ヘク其ノ性行、教育身分、生活賞罰等ノ關係ヲ大別スルトキハ左ノ如シ

1 性行

- 一 頑迷不靈ノ爲メ墮落セル者 百分ノ一五
- 二 薄志弱行ノ爲メ墮落セル者 百分ノ七五
- 三 遅鈍貧慾ノ爲メ墮落セル者 百分ノ一〇

2 教育

- 一 若干中等教育ヲ受ケタル者 百分ノ一三
- 二 高等小學校教育中ノ者 百分ノ二三
- 三 尋常小學校三年以上ノ者 百分ノ三〇
- 四 尋常小學校三年以下ノ者 百分ノ二〇
- 五 眼ニ一丁字無キ無教育者 百分ノ一四
- 一 實父母ヲ有スル者 百分ノ三〇

第二 繼父母、孤兒、私生兒ナル者ニ對シ我輩ハ實ニ洵マシク百分ノ七〇ニ及ビ且其ノ中ニ

中等以上ナル者 (自己ノ財産ニテ生活スル者) 百分ノ二〇

第二 下等ナル者 百分ノ八〇

不貞風俗(賃働キシテ生活スル者) 百分ノ一五

一 賞詞等ヲ受ケタル者 百分ノ二

二 刑罰ヲ受ケタル者 百分ノ四五

三 賞罰ナキ者 百分ノ五三

是ニ由テ之ヲ觀レハ懲治卒ハ蓋シ社會不幸兒ナルコトヲ知ルヘシ就中其ノ身分ニ於テ繼父母、孤兒、私生兒ナラサル者ハ其ノ父兄ノ品行不正ナル者ニシテ殆ト家庭ニ缺點アラ

サル者ナシ偶々家庭ニ缺點ナキ者アレハ不良ナル風俗ニ感染シアリ殊ニ下等生活ニシテ繼父母、孤兒、私生兒等アル時ハ家庭ニ温情ナキヲ以テ長スルト共ニ猜疑心ヲ起シ人生ヲ悲觀シ精神腐敗シテ遂ニ墮落スルモノナラン寔ニ同情スヘキモノナリ然レトモ不良ナル境遇ヲ有スル者ハ全部惡化スルヤ否然ラス如何ニ周圍ノ風俗不良ナルモ涅スレトモ染マサル底ノ堅固ナル精神ヲ有スル者ハ惡化スルコトナシ左ニ論理ヲ發見スルコトヲ得ン

不良風俗中ニ生育シタル者ハ必ス不良ナリト謂フコトヲ得サルモ不良者ハ必ス不良ナル境遇ヲ經過シタルモノナリ

其四 犯罪ノ原因

犯罪ノ原因ハ要スルニ家庭ノ腐敗ニ歸著ス何トナレハ人ノ此ノ世ニ初メテ生レタルトキハ何事モ辨スルノ能力ヲ有セス若シ有ストセハ其ノ生存上必要ノ要求ニシテ所謂天真爛漫ナル神ノ心ナルヘシ然ルニ長スルニ從ヒ先輩ノ爲ス所ヲ以テ模範トナシ知ラス識ラス

ノ間ニ習得シテ善或ハ惡ノ勸ヲ爲スニ至ルモノナルコトハ當然ノ真理ナリ故ニ生ルヤ直ニ啞者ニ附シテ人跡ナキ地ニ養育セシメナハ成長ノ後言語ヲ解スルコト能ハサルヘシ而シテ人或ハ犯罪ノ原因ヲ地方風俗ノ不良ニ歸スルモノアリ是レ一應理ナキニアラサルモ是レ唯某一村一郷ヲ基礎トシタル立論ニシテ社會全般ヲ論スヘキ標準トナスニ足ラサルナリ即チ地方風俗ハ人ニ由リテ作ラレタルモノニシテ人ハ即チ家庭ノ内ニ含マルルモノナリ故ニ一國內ノ家庭全部善良ナレハ風俗從テ純良ニシテ犯罪跡ヲ絶滅スルコトヲ得ン換言スレハ犯罪ノ原因ハ土地ニ非スシテ家ニ非スシテ人ニアリト判斷セントスルモノナリ今日ニ於ケル我國民道德狀態ヲ觀察スルニ上流者ニ悖德ノ所爲アル者アリテ中流者却テ道德ヲ守リ下流者ニ至リテハ一般ニ道德ヲ修ムルコト能ハサル者多シ然而シテ社會ノ風潮ハ動モスレハ道德ヲ破壊シ悖德ニ赴カントスルノ傾向ヲ有スルハ實ニ悲ムヘキ現象ナラスヤ語ニ所謂上ノ好ム所下是ヨリ甚シキハナシト上流者タル者豈猛省セスシテ可ナランヤ故ニ一般人民ハ姑ク措キ

陛下ノ股肱タルノ軍人就中其ノ上位ヲ占ムル吾人將校ハ陛下ノ心ヲ以テ心トナシ全力ヲ舉ケテ失徳ナキヲ期セサルヘカラス

懲治卒ノ家庭景況ヲ大別スレハ次ノ如シ

- 一 放任 子弟ノ爲スカ儘ニ任シタル者
- 二 紊亂 一家舉ケテ不規律ニシテ各自勝手ノ振舞ヲナス者
- 三 淫猥 父ハ妾ヲ置キ母ハ情夫ヲ持ツ者
- 四 冷酷 飲食ヲ制限シ或ハ虐待ヲ爲ス者
- 五 過愛 子弟ノ言フカ儘ニ應スル者
- 六 不和合 喧嘩口論絶間ナキ者
- 七 竊盜詐僞 虛妄ヲ吐キ陰口ヲ利キ他人ノ者ヲ掠ムル者
- 八 賭博 父母トモ之ヲ職業トスル者
- 九 怠惰 家業ヲ勤メサル者

十 放蕩 金錢ヲ浪費シテ身持修マラサル者

十一 貧困 衣食住ニ差支フル者

淫猥ノ最モ著シキ一例ヲ舉クレハ本人ノ父カ死亡後祖母ハ情夫ヲ入レテ家ヲ占領シ母ハ情夫ト駈落シテ所在不明トナリ姉ハ他人ノ妾トナリ本人ハ下女ト關係シテ徒食シ財産ハ殆ト蕩盡シ放蕩ノ末入營シタル者アリ
家庭ノ取締ハ父ノ責ナリ内ヲ主宰スルハ母ノ義務ナリ以上列舉セル家庭ノ景況ヲ一瞥セハ立所ニ其ノ責任ヲ有スルモノニシテ其ノ職ヲ盡ササルニ因ルコトヲ發見スヘシ中隊家庭ノ父タリ母タル中隊長以下ノ幹部カ努力ノ如何ニ由テ中隊ノ聲價ヲ左右スル亦實ニ斯クノ如クナルコトヲ思ハサルヘカラス

其五 入營後ニ於ケル初犯ノ時期

犯罪ハ如何ナル時期如何ナル機會ニ於テ發生シ又如何ナル期間ヲ最モ多シトスルヤヲ考究スル爲メ之ヲ軍事教育ノ進度ニ比較スル亦無用ノコトニアラサルヘシ今左ニ之ヲ述ヘン

陸軍懲治卒

海軍懲治卒

一 入營後三個月以内

百分ノ五〇

百分ノ一一

二 同 六個月以内

百分ノ二六

百分ノ〇

三 同 一個年以内

百分ノ一七

百分ノ六七

四 同 二個年以内

百分ノ四

百分ノ二二

五 同 二個年以後

百分ノ三

百分ノ〇

之ヲ觀ルトキハ陸軍ハ最初六個月間ニ百分ノ七六ヲ出シ海軍ハ最初六個月間ニ百分ノ一
 一次ノ六個月間ニ於テ百分ノ六七ヲ出シ其ノ後月日ヲ重ヌルニ從ヒ減少シアリ之ヲ研究
 スルニ素質ニ於テ多少異ル點アルト服役年數ノ異ナルト取締方ノ異ナルトノ三ニ原因セ
 ルモノナルヘシ素質ノ異ル點ハ陸軍ハ殆ント徴兵ナルモ海軍ハ二分ノ一志願兵ヲ採用シ
 アリ此ノ志願兵ナルモノハ總テ多少教育ヲ受ケ居ルモ中ニハ郷里ニ於テ放蕩ヲ盡シ身ノ
 置キ處ナキニ至リ海軍ニ入り身ヲ立ツル希望ヲ以テ入營シタルモノアリ是等不良分子

並ニ徴兵中ノ不良分子ヲ放任シ置ク時ハ尙ホ早ク犯罪者ヲ出スナランモ海軍ニ於テハ最
 初六ヶ月間引率外出ナルヲ以テ餘儀ナク服從シ在ルモ元來放蕩者ナレハ耐忍力足ラス隨
 テ學術科進歩セサルヲ以テ他人ト共ニ進級スルコト能ハス加フルニ服役年限長キヲ以テ
 茲ニ進退谷マリテ自暴自棄ヲ起シ單獨外出許サルルニ至ラハ茲ニ犯罪ヲ爲スニ至ルモノ
 ナラン

以上述フル所ニ據リ推斷シ不良者ハ早晚必ラス罪ヲ犯スモノナルヤト云フニ必スシモ然
 ラス斯ノ如キモノト雖モ終始適切ニ指導スルトキハ遂ニ人道ヲ解シ忠良ナル軍人タラシ
 ムルコトヲ得ン若シ指導上注意ヲ缺キ一度失敗セシムルトキハ元來不良者ノ辛フシテ謹
 慎シアルモノナレハ直ニ其ノ素地ヲ露シ自暴自棄シテ容易ニ救フヘカラサルニ至ル故ニ
 此等ノ輩ニハ終始注意ヲ懈ラサルコト肝要ナリ其ノ後ハ其ノ職マシテモ其ノ職マシテモ
 今日ニ於ケル軍隊教育ノ力ハ未タ斯ル不良者ヲ變化スルノ力ナキモノト云フヘキカ果シ
 テ眞ニ力及ハサルニ因ルカ或ハ其ノ職ヲ盡ササル點アルカ爲ナルカ若シ後段ニ屬ストセ

ハ陛下ノ信賴ヲ擔ヒ軍隊ノ楨榦ヲ以テ任スル吾人將校何ヲ以テ之ニ答ヘントスルカ實ニ猛省ヲ要スル所ナリ而シテ教育ノ事タル寢食ヲ忘レテ熱心事ニ當ラハ決シテ不可能ノコトニ非ラサルヘキヲ信ス即チ熱心ナレハ自ラ其ノ氣ニ打タレ知ラス識ラス之ニ感化スルモノナレハナリ

其六 犯罪ノ誘因

入營後罪ヲ犯スニ至ルハ第三ニ於テ述ベタル如ク素ヨリ精神堅固ナラサルモノナルカ故ナリト雖モ若シ懲治卒ニシテ根本的ニ兵役ヲ忌避シ軍隊ヲ嫌惡スルモノナラシメハ既ニ入營ノ前ニ於テ失踪シ若クハ其ノ役ニ服スルノ資格ヲ失フカ如キ法ノ制裁ヲ受クヘキ行爲ヲ敢テスヘキ筈ナリ故ニ若シ然ラストセハ之ヲシテ遂ニ懲治卒タラシメタルハ何等カノ誘因ナカルヘカラス是吾人軍職ニ在ル者ノ潜心研究セサルヘカラサルコトニ屬ス既ニ言ヘルカ如ク懲治卒ハ社會ノ不幸兒ナリ誠ニ同情スヘキモノナリ果シテ然ラハ吾人ハ確ニ國民ノ一部ニ對シテ精神上物質上ノ慈善感化院タルノ覺悟ヲ有セサルヘカラス其ノ誘

因ニ就テ研究セル所左ノ如シ

- 一 酒ト婦人
- 二 家計ノ不如意
- 三 家事ノ混雜
- 四 本人ノ美貌
- 五 官給品ノ紛失ヲ内密ニ辨償スル惡習
- 六 學術科ノ不進歩
- 七 上等兵古參兵ノ虐待
- 八 古參兵ノ嘲弄
- 九 金錢ノ不足
- 十 多病
- 十一 兵卒ノ犯罪ヲ下士、上等兵カ糾問シ甚シキニ至リテハ之ヲ懲戒或ハ隱蔽セラル

- 十一ルコト
- 十二 喇叭手等ノ專業者遲鈍者ヨリ選定スルコト
- 十三 兵卒ノ窮狀ヲ憫ミ上官カ金錢ヲ貸與スルコト
- 十四 上官カ信用薄キ兵卒ニ自印金錢等ヲ委托スルコト
- 十五 檢察處分中ノ者、帶罰者或ハ犯罪嫌疑者ノ監督ヲ疎略ニセルコト
- 十六 上官ノ偏愛若クハ不公平ナルコト
- 十七 引率外出ノ不規律
- 十八 罰ヲ科シテ訓戒ヲ怠ルコト
- 十九 兵卒ノ精神狀態ヲ知ラス取扱當ヲ失セルコト
- 二十 兵卒カ憤怒ニ驅ラレテ暴戻ノ所爲ニ及フコト
- 二十一 刑法懲罰ヲ終リタル者ノ取扱不適當ナルコト殊ニ初犯者ニ對スル注意ヲ怠ルコト

- 二十二 公用、從卒橫道使用ヲ知ラサルコト
- 二十三 公用印鑑ノ出納嚴密ヲ缺キ一時上等兵力保管シ居タタルコト
- 二十四 被服倉庫ノ鍵ヲ上等兵若クハ兵卒カ所持スルコト
- 二十五 印鑑貸借ノ行ハルルコト
- 二十六 證明ナク炊事當番等ニ門ノ出入ヲ許セルコト
- 二十七 入院患者ノ監督不行届ナルコト
- 二十八 特別賜金通帳其ノ他貯金通帳、爲替券、保管ニ對シ注意足ラサルコト
- 二十九 炊事若クハ銃工場ニ於ケル印鑑保管不確實ナルコト
- 三十 金錢及時計等ノ貸借並時計ノ修理爲替金ノ受領ヲ他人ニ托セシコト
- 三十一 僞言ヲ以テ出願シタル休暇ヲ許可セルコト
- 三十二 遅刻者、脱走者ノ發生セシ際搜索手段機敏周到ナラサルコト
- 三十三 諸勤務ニ對スル監督足ラサルコト

- 三十四 不正者ヲ勤務ニ使用シタルコト
 - 三十五 勤務割出ヲ下士ニ放任シ公平ヲ失シタルコト
 - 三十六 紛失物ノ搜索ヲ等閑ニ附シタルコト
 - 三十七 面會人ノ種類ニ注意セサルコト
 - 三十八 初年兵カ上等兵、古參兵卒ニ酒肴ヲ供シテ愛ヲ買ヒ冷遇ヲ免レントスル惡習
 - 三十九 初年兵カ起床前ニ起キ古兵ノ靴ヲ磨キ暖爐ヲ焚キ洗濯ヲナス等勤務以外ニ苦役セラルル惡習アルコト
 - 四十 勤務ノ交代ヲ隨意ニナスヲ放任シ置クコト
 - 四十一 勤務ヲ金錢ニテ賣買シ或ハ勢力若クハ情願ニ依リ交代セルコト
- 以上列擧セル所ヲ觀ルニ其ノ誘因ノ軍隊内ニ於ケルモノ頗ル多シ而シテ皆是レ曠職ニ基
 因セサルナシ中隊ニ幹部タル者宜シク奮テ精力ノ全部ヲ其ノ職務ニ傾注シ苟モ遺算ナキ

ヲ期セサルヘカラス

以上ノ誘因ニ由リ作り出サレタル犯罪者ヲ職業ノ上ニ就テ觀ルトキハ坑夫、職人、人夫
 ノ如キモノ多數ヲ占ム元來職人根性ナル者ハ放縱ニシテ今日ハ休業シ明日ハ働キ時々弛
 張アルモノアリ就中未丁年者ヲ放任シ其ノ得ル所ノ金錢ヲ隨意ニ費消セシムルハ青年ヲ
 シテ墮落セシムル力最大ナリト認メラル而シテ犯罪ノ種類中最モ多キモノハ逃亡ニシテ
 之ニ次クモノハ竊盜、詐僞ナリ其ノ他ハ何レモ百分ノ一乃至三ナリトス

犯罪ノ性質ヲ地方ニ依テ大別スレハ東北ハ短慮ニ基因スル者多ク中部ハ薄志弱行ニ基ク
 モノ多ク九州ハ故意ノモノ多ク北海道ハ淫猥ニ基因スルモノ多シ

明治三十九年十一月開設以後今日迄ニ編入シタル懲治卒ノ所管ハ左表ノ如シ即チ之レヲ
 觀レハ大都會若クハ炭坑所在地等ノ如ク青年者ノ多ク群集スル所ニ犯罪者多クヲ知ルコ
 トヲ得ヘシ

考 備	計	佐世保海兵團	吳海兵團	横須賀海兵團	第十八	第十七
十	一八〇	二	四	四	六	九
八	三					
十	九四	一〇	二	一	三	五
七	七					
七	七六	二	二	三	四	四

三 懲治卒ノ教育

其一 教育者ノ覺悟

犯罪者ハ其ノ事實ノ如何ニ論ナク悖德者ナルヲ以テ決シテ善良ナル國民ニ齒セシムヘキニアラス然レトモ其ノ所斷ノ如何ニ依リテハ他ノ悖德者ヲ警告セシムルノ利器トナスコトヲ得然ラハ敢テ咎ムヘキコトニアラサルカ否大ニ然ラス斯クノ如キ利器ハ全力ヲ盡シテ芟除シ社會ノ安寧ヲ保持シ軍紀ノ健全ヲ期セサルヘカラス之レカ目的ヲ達セルニハ教育ノ力ニ待ツノ外ナキナリ現今國民ヲ教育スヘキ機關三アリ曰ク家庭教育曰ク學校教育曰ク軍隊教育是ナリ然ルニ家庭教育ハ第一節其ノ四ニ於テ述ヘタルカ如ク世運ノ形勢日ニ非ナル者アルヤノ感アリテ其ノ缺點蓋シ尠カラサルナラン又現今ノ學校教育ハ所謂倫理修身ノ教育ハ施サレアルモ國民ヲシテ強固ナル精神ヲ薰陶シテ克己心ヲ有セシメ耐忍力ヲ保タシムルノ力微々ニシテ健全ナル國民養成上信賴スルニ足ラサルモノアラン即チ

軍隊教育ニ於テ始テ其ノ目的ヲ達成スルコトヲ得ヘシト謂フモ敢テ過言ニアラサルヘシ
 既ニ吾人將校ハ軍隊教育ノ權ヲ提ケテ此ノ濁浪ヲ排シ毎年吾人ノ學校ニ入學スル數萬ノ
 壯丁ヲ教化シテ德性ヲ啓發シ之ニ依リ國民全體ニ健全ナル道德ヲ普及セシメ人ヲシテ軍
 隊アルカ爲ニ國民ハ健全ナリト言ハシムルノ意氣ナカラサルヘカラス

其二 幹部ノ心得

懲治卒ハ最早濟度スヘカラサルカ夫レ然リト雖モ國民中ニ不良者アルハ即チ其ノ國民ノ
 弱點ヲ表スルモノナルヲ以テ決シテ之ヲ放棄シ置クヘキニアラス且又如何ニ頑迷不靈ナ
 ル破廉耻ノ輩ト雖モ素是レ萬物ノ靈長タルヘキ性ヲ稟ケタル人類ナリ況ンヤ家庭並ニ軍
 隊ニ於ケル指導教育其ノ當ヲ得サリシヨリ終ニ茲ニ至リタル者ニ於テヲヤ故ニ何等カノ
 動機ヲ捕捉シテ其ノ薰陶肯綮ニ中ラハ強チ悔悟改悛セシムルコト不可能ニアラサルヘシ
 故ニ彼等ノ個人狀態ニ應シ人道ヲ教ヘ德性ヲ涵養シ特ニ忠君愛國ノ志氣ヲ啓發シ過去ノ
 非行ヲ悔悟シ其ノ本分ヲ盡スノ道ニ入ラシメ進テ他日彼等ノ現役滿期後善良ナル生業ニ

就キ忠良ナル在郷軍人タラシムル覺悟ヲ以テ熱心之カ教育ニ當ラハ如何ニ不良ノ徒ト雖
 モ濟度シ得サルコトアラシヤ若シ又全ク改悛ニ至ラサル迄モ幾分ナリトモ人道ニ近邇シ
 何レノ時カ其ノ光明ヲ發揮スルコトアルヘシ是レ吾人カ大ニ懲治卒ニ對シテ興味ヲ有シ
 其ノ終局ノ歸趣ヲ樂マントスル所ナリ而シテ此ノ所謂濟度ノ目的ヲ達センニハ先ツ幹部
 ノ完全ヲ圖ルノ要アリ故ニ懲治隊ニ於テハ幹部ニ對シ概ネ左記ノ心得ヲ要求シアリ

- 一 卒ニ接スルニハ自己ヲ以テ儀表トナシ率先躬行誘掖指導スヘキコト
- 二 卒ニ對シテハ公平嚴肅ヲ旨トシ之ヲ待ツニ懇切愛撫ヲ以テ軍隊ニ於ケル上下温情
 ノ興味ヲ覺知セシムヘキコト
- 三 卒ノ多クハ巧言令色表ニ柔順ヲ裝フ者アリ或ハ罵詈暴行ヲ敢テシ恬トシテ顧サル
 者アリ之ニ對スルヤ常ニ頭腦ヲ冷靜ニシテ事ヲ處シ苟モ扭レテ虛隙ニ乘セララル
 コトナク憤怒ニ驅ラレテ爭論シ其ノ術中ニ陥ルカ如キ事ナキヲ要ス
- 四 卒ハ營ニ之ヲ監視スルニ止マラス常ニ其ノ言動ニ深ク注意シ彼等カ隱微ノ希望及

企圖ヲ洞察シ以テ其ノ過誤ヲ未發ニ防クヘキコトヲ努ムヘキコト

五 下士以下ニシテ卒ノ現行犯ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ制シタル後報告シ過去ニ屬スル犯行ヲ認知シタル時モ速ニ報告スヘシ何レノ場合ト雖モ卒ニ就キ直接調査ヲ爲スヲ許サス

六 卒ヨリ訴願スルモノアルトキハ確實ニ其ノ手續キヲ爲スヘシ權限外ニ亘ル事項ヲ自己ノ意見ヲ以テ抑制スヘカラサルコト

七 卒ノ面前ニ於テハ同輩ト雖モ戲言、雜話ヲ戒メ其ノ他名譽ヲ失墜スルカ如キ所爲アルヘカラサルコト

幹部ヲシテ右ノ服務要領ヲ確守シ其ノ精神ノ在ル所ニ依リ努力セシムレハ懲治卒ヲシテ自ラ悔悟改悛セシムルノ効能アリ今左ニ一例ヲ掲ケム

爰ニ入營後當隊編入前四回迄逃亡及竊盜罪ニテ入監シタル懲治卒アリ其ノ服刑中ハ常ニ監獄職員等ニ對シ罵詈暴行ヲナシ剩ヘ破獄逃亡二回破獄未遂一回ニ及ヒ其ノ逃走中

某隊銃工場ニ忍ヒ入り刀及器具ヲ竊取シテ之ニ附及シ隙ヲ窺テ監守ヲ殺害セントシテ果サス事其ノ意ニ滿タサルヲ悟リ自ラ絶食シテ餓死セントシタル如キ痴漢ナリシカ當隊編入後モ屢々下級幹部ニ對シ暴戾ノ言動ヲ爲シタリシモ下官ハ一步モ假借スルコトナク冷靜且嚴格ニ處斷シ少シモ暴行等ヲ働クノ機會ヲ與ヘサルト共ニ其ノ不法ノ言動ニ對シテハ著ク矯正ヲ加ヘ居リシカ彼ハ何等カ機會ニ乘シテ得意ノ暴行ヲ働クノ動機ト爲サン考ヘナリシナルヘシ一日面謁ヲ求メテ今後如何ナル命令モ遵守セサル旨申出タリ乃チ冷靜其ノ不心得ヲ訓戒シ不軍紀ナル公言ニ對シ重營倉二十日ニ處シ其ノ罰期中ニ於テ諄々軍紀成立ノ根本ト人倫道德ヲ教示シ長上ノ命ニ從フハ人生ノ真理ニ合スルモノナルコトヲ説キ聞セタリ斯クノ如クスルコト數十回ナリシカ彼ハ飄然悟ル所ヤアリケン其ノ後一年有半在隊セシカ爾後能ク命令ニ服從シ勤務ニ勉勵シ歸郷後モ亦勤勉其ノ職ニ從事シ時々書信ヲ寄セテ消息ヲ通シツツアリ下官若シ其ノ初メニ於テ一時ノ憤怒ニ驅ラレ過酷不正ノ處置ニ出テタランニハ遂ニ今日ノ狀況ヲ見ルコト能ハサリ

其二 素行調査

懲治卒素行ノ調査ハ即チ懲治教育ノ成績ヲ査定スルモノニシテ亦爾後ノ教育方針ヲ各人ニ依リ決定スルノ手段ナリ故ニ此ノ調査ハ最モ慎重審議ヲ要シ且適切公平ナラサルヘカラス懲治卒ノ多クハ猜疑ノ念最モ深ク一度其ノ念ニ襲ハルトキハ幹部ノ注意モ訓戒モ何等ノ効果ナキノミナラス却テ反對ノ現象ヲ呈スルコト其ノ例尠カラス故ニ此ノ弊ヲ防クト共ニ一毫ノ微モ洩スコトナク之ヲ洞見觀察シテ精神ノ善良ナル傾向ヲ促シ或ハ機會ヲ捉ヘンコトニ努メ左ノ方法ニ依リ行狀調査ヲ實施シ居レリ即チ上等兵以上ノ幹部ハ日常支給サルヘキ手簿ハ苟モ身體ヲ放ツコトナク携帯シ演習ニ勤務ニ其ノ他室ノ内外ニ於ケル萬般ノ坐作進退ニ至ル迄周密ナル注意ヲ以テ監視監督シ其ノ所見ハ各人毎ニ之ヲ手簿ニ記註ス次ニ毎月末ニ至レハ班長タル將校ハ更ニ之ヲ各人毎ニ取纏メテ調査シ之ニ其ノ一回年中ニ於ケル自己ノ所見ヲ加ヘ且主トシテ精神状態ニ重キヲ置キテ法則命令ノ服

行言語動作、學術科其ノ他ノ勤務、改悛ノ状態及賞罰疾病等ニ對照シ以テ綜合シテ得タル成績ヲ定メ而シテ今後ノ指導方針ヲ決定シ議案トシテ之ヲ隊長ニ出ス隊長ハ更ニ自己ノ所見ヲ以テ查覈シ翌月上旬隊附將校全員ヲ召集シ會議ヲ開キ各人毎ニ其ノ成績ヲ合議討論シ其ノ議決ハ之ヲ行狀録ニ記註シ其ノ月ニ於ケル行狀等級ヲ定メ之ヲ各懲治卒ニ達ス此ノ場合ニ於テ賞スヘキハ之ヲ賞シ訓戒スヘキハ各事項ヲ指示シテ注意ヲ與フ斯クノ如クニシテ月々其ノ成績ヲ調査スルトキハ善ハ益々善ニ惡ハ漸次其ノ非行ノ餘地ナキヲ悟リ多クハ能ク幹部ノ意圖ニ從テ動作スルニ至ルモノナリ若シ吾人ヲシテ此ノ行狀調査ヲ成規軍隊ノ良兵卒(懲治卒ニ比較シテ)ニ就テ行ハシメハ縱令其ノ調査ノ時期ニ於テ多少ノ差異アルヘシト雖モ必スヤ大ニ見ルヘキモノアルヲ信ス恨ムラクハ頑迷度シ難キ懲治卒ナルヲ以テ其ノ成果比較的ナラサルモノアリト雖モ亦大ニ効果アルヲ信シツツアル所ナリ

以上述フル所ハ即チ懲治卒教育ニ就テ特ニ正規軍隊ト異ルト思惟セシ教育上ノ事項ニシ

テ其ノ他ニ至リテハ教練ニ勤務ニ内務ニ百般ノ事ニ至ル迄毫モ成規軍隊ニ異ルコトナキヲ以テ茲ニ之ヲ説述セス之ヲ要スルニ懲治卒ノ教育ハ唯成規軍隊ノ教育ヨリモ軍紀風紀ノ強制一層嚴格ニシテ其ノ他ハ毫モ歩兵聯隊ノ教育ニ異ルコトナシトス

四 一般犯罪ノ豫防

其一 壯丁ノ研究

軍隊ニ於ケル犯罪ヲ豫防スルノ方法ハ事甚タ簡ナルカ如クニシテ決シテ然ラス頗ル困難ニシテ到底一朝一夕ニシテ其ノ効果ヲ見難キハ今茲ニ嘸々スルノ要ナカラン若シ之ヲ絶滅スル方案ニシテ講セラレタランニハ軍隊ハ愈々精銳ニ國民ハ益々健全ニ赴キ大ニ世界ニ雄飛ヲ試ムルヲ得ン然レトモ未タ吾人ノ希望ニ副ハサルノミナラス世運ノ轉變ハ却テ反對ノ現象ヲ見ントスルハ甚タ恨事トスル所ナリ更ニ心ヲ潛メテ軍隊ノ内部ヲ顧ミハ其ノ原因ノ多クハ第一節其ノ六ニ於テ述ヘタル所ノ如キモノアリテ職ニアル者一日モ晏如

タルヲ得サルモノアリ然ラハ即チ之ヲ防遏スルノ手段如何今日ニ於ケル最良ノ手段トシテ之ヲ一解ニ盡サハ其ノ職ヲ曠フセサルニ在リ統御宜シキニ在リ實ニ曠職ハ犯罪ヲ誘發スル最大原因動力ト謂ハサルヲ得ス然リ而シテ統御宜シキニ適ヒ精神上ノ訓育其ノ要ヲ盡サンニハ必スヤ個人ノ心理状態ノ研究ヨリ始メサルヘカラス今試ニ嘗テ數個所ノ徵兵検査場ヲ視察シテ得タル所ト懲治卒ヲ研究シテ得タル所ヲ綜合シテ壯丁一般ノ景況ヲ觀察スルニ概要次ノ如キモノヲ得タリ

- 一 進テ義務ヲ盡ス覺悟アル者少數
- 二 義務ナリト雖モ成ルヘク當籤セサル如ク心竊ニ期スル者多數
- 三 義務ヲ盡スノ心ナク兵役ヲ忌避シテ失踪スル者少數

右第一ノ者ハ國民當然ノ道ニシテ敢テ議論ヲ挿ムノ餘地ナキモ少數ナルハ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ而シテ徵兵検査場ハ殆ト第二ノ者ニテ充サレアルモノノ如ク之ヲ裏面ヨリ視察スル時ハ或ハ思ヒ半ニ過クル者アラン即チ「トラホーム」治療ヲ怠ル者或ハ其ノ他種々衛

生状態ヲ不良ナラシメ甚シキニ至リテハ迷信的祈禱ヲ爲ス者アル等心窃ニ兵役ヲ厭忌シ不合格ヲ祈リツツアル者アルノ感アリテ一トシテ皆吾人ニ不快ノ念ヲ與ヘサルハナシ而シテ彼等ニシテ一旦身體検査ニ合格シ抽籤ニテ當籤セル時ハ如何第三ノ者ハ或ハ自暴自棄ニ陥リ放蕩ヲ爲スカ如キモノアルニ至ル斯クノ如クニシテ入營時ニ至ル而シテ其ノ精神状態ヲ推究スルニ概ネ次ノ如キモノナラン

- 一 前段第一ニ屬スルモノハ忠義ヲ盡ス爲メ進テ入營セン
 - 二 同第二ニ屬スル者ノ多數ハ遂ニ義務ノ一端ヲ覺知スルニ至リテ入營セン
 - 三 同第三ニ屬スル者ノ少數ハ周圍ヨリ入營ノ名譽ナルニ推稱セラレ我ヲ忘レテ入營セシム
- 徵兵令第十二條ノ志願兵ニ就テモ亦次ノ如ク積極並ニ消極的の二個ノ理由ノ下ニ志願タルカ如キ觀アリ

- 一 早ク兵役義務ヲ終リテ希望スル職業ニ従事スルカ或ハ下士志願ノ者

二 身上事故ノ處決ニ窮シ父兄等ノ勸告ニ依ル志願者

斯クノ如キ消極的の志願者アルヲ以テ志願兵タリトテ強テ信用スルトキハ失敗ニ陥ルヲ以テ公平緻密ナル注意ヲ以テ其ノ精神ヲ觀察シ肯綮ニ中ルヘキ教育ヲ施ス事肝要ナリ然レトモ右第二ノ如キモノヲ志願セシムル父兄ノ精神ヤ果シテ軍隊ヲ信賴シテノ結果ナルカ或ハ又他ニ理由ノ存在シテ然ルモノナルヤ聊カ疑問ニ屬スヘシト雖モ以上述フルカ如キ不良ノ壯丁ニ對シ吾人將校ハ必ス之ヲ濟度セスンハ止マサル決心ヲ必要トス斯クノ如キ者到底善良ナル軍人ト爲シ能ハサルカ否決シテ然ラス教育統御ノ二者ニシテ共ニ其ノ宜シキヲ得ハ善良ナル軍人ト爲ス敢テ難キニアラサルヘシト信ス

其二 兵卒ノ精神教育

漠然トシテ事ニ從フトキハ成效スヘキモノニアラス若シ之アリトスルモ其ハ僥倖ノミ故ニ事ニ從フヤ必ス主義ナカルヘカラス自信ナカルヘカラス而シテ其ノ主義ハ理論ノ明確ナルヲ要スルコト尙ホ戰術研究ニ於ケルカ如シ然ラハ即チ吾人モ亦此所ニ主義ト自信ト

ヲ以テ精神教育ノ壇ニ起タサルヘカラス以下平凡ニシテ乾燥ナル下官ノ套語ヲ列シ大方ノ是正ヲ仰カントス

精神教育ノ爲ニハ、勅諭ヲ講義スルノミヲ以テ足レリトスルカ否然ラス忠貞義烈ナル古今聖賢ノ事蹟ヲ講聽セシムルノミニテ可ナルヘキカ、否、未タシ精神教育ナルモノハ誠心誠意、勅諭ヲ奉戴シ極力其ノ精神ヲ鼓吹シ獻身ノ忠節ヲ盡サシメ以テ各人ノ不平ヲ去ラシメ迷ヲ解キ而シテ人道ヲ教フルニアリ實ニ犯罪ハ精神ノ腐敗ヨリ發シ精神ノ腐敗ハ不平ト迷ノ鬱屈ヨリ來レルモノ多シ故ニ精神教育ヲ施サントセハ己レ先ツ俯仰天地ニ愧チサル精神ヲ修養シテ其ノ身ヲ律シ權謀ナク術數ナク隔意ナク誠心誠意其ノ職務ニ精勵シテ部下ニ臨ム時ハ誰カ感動シテ善良ノモノトナラザラン若シ之ニ反シ如何ニ巧ニ口ニ道德ヲ説クモ其ノ身修マラス内ニ誠心誠意ナクンハ却テ害トナル縱令害タラストスルモ唯一場ノ講釋タルニ過キサルナリ思フニ教育ノコトヤ甚タ難事ナリ而シテ精神教育ハ難事ノ難事ナリ焉ンソ下官ノ如キ不肖ヲ以テ妙案好説ヲ發見スルヲ得ンヤ然レトモ一言

ニシテ之ヲ蔽ハシメハ實ニ誠實熱心ノ二者ヲ出テス誠ハ實ニ天ノ道ナリ誠能ク天地ヲ動かスト云フ況ンヤ人心ヲ誠ノ德ヤ實ニ洪大無邊ナリト謂フヘシ前段述フル所ノ用意ヲ以テ其ノ職務ニ精勵セハ精神教育ノ手段ハ自ラ發見スルコトヲ得ン而シテ下官ノ研究ニ係ル所ノ迷ヲ解キ不平ヲ去ラシムル手段ハ個人狀態ノ調査ヲ以テ基礎トス而シテ又此ノ調査ハ初年兵入營ノ時ニ於テ行フヲ肝要トス即チ壯丁ノ素質如何ニ論ナク入營當日ハ混雜中ニ日没トナリ見送り人ハ歸リ四面殆ト初對面ノ人ノミ餘音長ク哀レニ聞ユル消燈喇叭ノ後ハ祭禮ノ翌日カ果タ大風ノ吹キ荒ミタル後ノ如ク恰モ氣拔ケシタル感アリテ可惜五尺ノ男子爲スヘキコトノ度ヲ失ヒ茫然トシテ殆ント小兒ノ如ク唯無意識ニ郷里出發以來ノ光景カ僅カニ腦裡ヲ往來シツツアルノミ實ニ此ノ時ニ於テハ催眠狀態ニアルモノカ其ノ術者ノ命令ノ儘ニ動クカ如ク全ク上官ノ指示ニ從フモノナリ即チ此ノ時ハ實ニ彼ノ心機ヲ一轉セシメ其ノ本分ヲ盡スノ緒ニ就カシムルノ時ナリ之カ爲ニ第一著ニ個人狀態ノ調査ヲ爲シ同時ニ中隊長ノ意圖ヲ知ラシメ軍務ニ奮勵スヘキ決心ヲ有サシム然ルト

キハ始メテ思郷ノ念ヲ去リ茲ニ覺醒シテ軍隊ニ奮勵スヘキ精神ヲ發スルモノニシテ内務書第六章第四ノ精神亦之ニ存スト謂フモ敢テ不可ナキナリ抑々青年ノ漸ク壯丁ニ達シ初年兵トシテ入營シタル頃ハ所謂人生ノ過渡時代ニテ經驗尙ホ極メテ薄ク血氣未タ脱セス隨テ其ノ精神モ亦恰モ夫ノ浮藻ノ如ク漂々乎トシテ刻々ニ變移スルモノアラシク縱令變移セサルトスルモ之ヲ放任シ自然ニ委スルトキハ夫ノ手入ヲ加ヘサルト等シキニ至ラン故ニ之ヲ良好ノ用材トナサンニハ必スヤ手入培養ヲ要ス又伯樂ノ見テ以テ千里ノ駿足トナス馬モ熟達シタル騎手ノ調教ニ依ラスハ乘馬トシテ完全ナル性能ヲ具備シ難ク慧敏勇敢ナル「ホインター」種ノ犬モ獵犬トシテ使用センニハ尙ホ幾多ノ教育ヲ要スルモノナルヘシ人ノ精神モ亦此クノ如ク手入ヲ要ス調教ヲ要ス古人謂ヘラク人ノ天分ニハ上中下アリテ冥々ノ間自ラ定マルモノアリト雖モ其ノ修業ノ如何ニ依リ天分ノ不足ヲ補ヒ得ト此ノ言又一顧ノ價ナシトセンヤ然レトモ其ノ手入培養ニシテ適當ナルモノアラザランカ或ハ根本ヲ滅絶スルノ恐レアリ故ニ之カ適當ヲ計ラントスルニハ夫ノ樹木ノ培養ハ其ノ性

質ニ隨ヒ初冬若クハ中春ニ行ヒ手入ハ初秋ニ施スカ如ク精神教育ニ於テモ亦其ノ時機ヲ考量スルコト肝要ナリ是レ亦個人狀態ノ研究ヲ説ク理由ノ一ニシテ又特ニ此ノ時機ヲ有効ナリト主張スル所以ナリ實ニ此ノ漂々タルモノニシテ一度失敗スルトキハ忽チ自暴自棄ニ陥ルモノナリ然レトモ此ノ漂々タル間ハ指導ノ如何ニ由テ善惡二者孰レカニ別ルル者ニシテ是レ此ノ時機ヲ失セハ遂ニ施スニ術ナカラン夫ノ屈曲シタル樹木モ稚小ナル時ニ於テハ隨意ニ之ヲ矯正スルコトヲ得ンヤ況ンヤ性本善ナル人類ノ中途他物ノ爲ニ屈曲セシメラレタルモノニ於テヲヤ壯丁ハ以上ノ如ク血氣未タ定マラス且玉石混淆ナルヲ以テ取締上不行届ノ點アルトキハ不良者跋扈シ裏面ニ於テ放蕩ノ練習場トナリ無垢ノ壯丁モ爲メニ惡化セラルルコトナキヲ保セス若シ斯クノ如キコトアラシカ國家ノ信賴ニ背クヤ是ヨリ大ナルハ莫シ吾人ハ誓テ放蕩ノ練習場タラシメサルノミナラス百尺竿頭更ニ一步ヲ進メテ之ヲ德化セスンハ止マサルノ覺悟ヲ必要トス此ノ要項ニ依リ個人狀態ヲ調査シタルトキハ猶醫師カ病者ヲ診斷シテ處方ヲ決定スルカ如ク爾後如何ニ精神教育ヲ施サ

ハ可ナルカヲ決定シ置クコトヲ得ヘシ然ルトキハ必ス次ノ如キ處方ヲ見ルナラン但シ藥種ヲ異ニスルハ勿論ナリトス

- 一 某ハ一週ニ一回個人教育ヲ要ス
- 二 某ハ二週ニ一回個人教育ヲ要ス
- 三 某ハ三週ニ一回個人教育ヲ要ス
- 四 其ノ他ハ集團教育ニテ足ル

而シテ下官實驗スル所ニ由レハ個人教育ヲ要スル特別人物ハ百分ノ五乃至十ナリトス右ノ決定ニ依リ教育ヲ始メ尙ホ常ニ各人ノ精神状態ニ注意シ其ノ決定適否ノ研究ニ勉ムルコト肝要ナリ若シ不適ノ者アレハ直ニ處分ヲ變更セサルヘカラス
個人教育ヲ施サントセハ己レ先ツ他ノ誘惑ニ犯サレサルカ如キ用意ヲ爲シ次ニ被教育者ニ同情ヲ表シテ彼ノ肺腑ヲ衝キ其ノ屈托セル所ヲ言ハシメテ之ニ説明ヲ與ヘ軍務ニ精勵スルコトヲ諭告スルニ在リ集團教育ノ要領ハ全般ニ亘ル要件ヲ指摘シ彼等ノ迷霧ヲ開

キ軍務ニ勉勵スルコトヲ訓告スルニ在リ

之カ目的ヲ果ス爲ニハ被教育者ノ一舉一動ニ注意シ其ノ精神ノ在ル所ヲ洞察シテ公平ナル研究ヲ爲シ苟モ不良ナリト認ムル點アラハ之ヲ等閑ニ附スルコトナク其ノ理由ヲ糾問シテ必要ノ訓戒ヲ加フルコトヲ要ス

個人教育ノ一例ヲ舉ケンニ茲ニ學術科不進歩ノ爲メ屈托セル者アリトセンカ先ツ引見シテ學術科ノ困難ニ同意シ次テ奮勵スヘキヲ諭告セハ數日ヲ出テスシテ彼ハ勉勵スルモ亦屈托ノ色ヲ顯ハサズ茲ニ於テ更ニ前同様ニ教示セハ又數日ハ勉勵スルモノナリ斯クノ如クニシテ初年兵ノ教育期ヲ終リ又第二期、第三期ヲモ經テ遂ニ一箇年ノ教育ヲ終ラハ稍、軍務ニ對スル趣味ヲ生スルニ至ルモノナリ茲ニ於テ始メテ良兵卒タラシムルコトヲ得

次ニ不平ヲ去ラシムル一例ヲ示サンニ日曜日外出前ニ於テ服裝検査ヲ行ヒ終リテ解散ス茲ニ彼等ハ式ノ如ク敬禮シテ各、意ノ欲スル所ニ行カントス此ノ一刹那ニ於ケル機敏ノ

間ニ不平アル者ノ動作ハ沈著ヲ缺キ内心敬意ヲ有セサルモノアリ之ヲ看破シタルトキハ直ニ引見シテ靜ニ其ノ不平ノ由來ヲ糺シ之ニ必要ナル訓誨ヲ與フルニ有リ苟モ軍隊ニ將校タル者ハ能ク機微ノ間ニ於ケル心理ノ傾向ヲ洞察シ得ルノ能心ナカルヘカラス之ヲ養成スルノ方法如何ハ唯多クノ經驗ヨリ造出サレタル熟練琢磨ニ依ルモノト謂ハサルヲ得ス不平ヲ起ス時機ヲ擧クレハ概ネ次ノ如シ

- 一 褒賞休暇ヲ與ヘラレタルトキ
 - 二 進級者ノアリタルトキ
 - 三 上官ノ處置公平ヲ失ヒタルトキ
- 氣ノ弛ム時期左ノ如シ
- 一 檢閲ノ終リタルトキ
 - 二 休暇ノ連續スルトキ
 - 三 古參兵ノ滿期退營シタルトキ

右ノ如キ時期ニハ特ニ訓誨ヲ爲スノ必要アルモノトス其ノ他ノ時期ニ於テモ一週一度即チ毎土曜日ニハ其ノ週間ニ於ケル結果ニ就キ中隊長自ラ所見ヲ示シ將來ノ希望ヲ述ヘ尙ホ誤解者ナキヤヲ確ムルコト肝要ナリ前諸項ノ如ク爲ス時ハ上下ノ意志疏通シ不平モ迷モナキニ至ル是レ即チ精神教育ノ要訣ナリ

其二 統御

部下統御ニ必要ナル性格ハ被統御者ノ性格一樣ナラサルカ故ニ一概ニ之レヲ示スヲ得スト雖モ故ラニ之ヲ説明セハ吾人ハ前ニ精神教育ニ就キ述ヘタル總テノ性能ト注意トヲ實現スルノ必要ヲ主張セントシ尙ホ之ヲ具體的ニ述フレハ情實ニ泥ムコトナク職權ヲ曠クセス常ニ公平ヲ旨トシテ事ヲ決定シ率先躬行軍紀ヲ確守シ部下ニ對シテ深切ナルハ蓋シ統御ノ要訣ナラン由來人ハ情實ニ流レ易キヲ以テ之ニ犯サレサルニハ豫メ其ノ準備ヲ要ス下官曾テ中隊長タリシトキ情實ノ弊ヲ除クヘキ目的ヲ以テ第一期教育ノ始メヨリ毎月素行並學術科ノ檢査ヲ行ヒ教育年度ノ終リニ至リ其ノ成績ヲ見タルニ其ノ中ノ少數ハ曾

テハ到底進級ノ見込ナシト思惟セシニ其ノ成績ハ頗ル優秀ニシテ進級セシムルノ見込アリト思惟セシ者ノ成績ハ却テ進級ノ數ニ加ハル能ハサル順序ナリシ乃チ更ニ詳細ニ研究セシニ表ハ依然確實ニシテ曩ニ其ノ望ナシト思惟セシハ全ク誤認ナリシコトヲ發見セリ是ニ於テ更ニ中隊附士官ノ所見ヲ徵シタルニ何レモ表ノ順序ニ不同意ヲ述ヘタリ仍テ然ラハ此ト彼トノ銃劍術ハ如何、射撃ハ如何、斥候ノ動作ハ如何、素行ハ如何ト總ヘテノ科目ヲ一々對照セシメシニ亦表ノ順序ニ同意スルノ外ナキニ至レリ乃チ其ノ成績順ニ進級セシメ以テ處置ノ公平ナルコトヲ得タリ爾來隊中一人ノ不平者ナク隨テ故意ニ軍紀ヲ犯スモノナク中隊ノ成績ハ日々ニ上達スルニ至レリ是レ或ハ部下ノ素質カ自然ニ作り出シタル成績ナリシヤモ知ルヘカラスト雖モ下官ノ自信ハ倍々堅キヲ致セリ

次ニ軍紀維持ニ關シ研究セントス之カ爲メ相互間之カ維持困難ノ如ク感セララルルハ軍隊中ニ於テ中隊附士官、上等兵ト同時入營ノ兵卒間ナルヘシ故ニ此ノ兩者ニシテ秩序維持行ハルレハ軍紀ノ嚴正ハ得テ期スヘキナリ

上等兵ト兵卒間ノ軍紀ヲ整然タラシムルヘキ手段ハ他ニアラス上等兵ヲ教育シ術科ニ學科ニ性格ニ於テ共ニ一、二等卒ヲ統御シ得ルノ力量ヲ具備セシムルコト肝要ナリ中隊長ト中隊附士官間ノ軍紀ヲ整然タラシムルハ相當ノ教育ヲ有スル將校ナルヲ以テ前者ホト困難ノモノニ非サルナリ即チ其ノ各本分ヲ盡サハ足ル若シ其ノ間ニ軍紀整然タラスシテ下士以下ニ軍紀ノ確守ヲ望ムモ木ニ縁リテ魚ヲ求ムルカ如ク到底得ル所ニアラサルナリ蓋シ各職能ク其ノ本分ヲ盡ストハ總テ時期ヲ失セル如ク中隊長自ラ決定シ中隊全般ヲシテ實行セシメ且之ヲ監督スルニ在リ然ルニ若シ中隊長ニ於テ決定時機ヲ失スルコトアラハ已ムヲ得ス下級者之ヲ決定シ遂ニ越權ノ處置ヲ爲スニ至ル是レ軍紀紊亂ノ基ニシテ犯罪者茲ニ發生ス故ニ下官ハ中隊長ト爲ルヤ中隊ニ命令シテ曰ク中隊内ニ起ル事柄ハ大小トナク必ス本職ノ裁決ヲ受クヘシ本職退營後等ニ於テ生スル小ナル事項ハ之カ裁決ヲ週番士官ニ委任ス然レトモ此ノ場合ニ在リテハ其ノ効力ハ本職出勤迄トシ若シ長ク効力ヲ有セシムル必要アリト認ムルモノハ更ニ命令スト斯ノ如クシテ中隊ノ制令一途ニ出テ各

人ノ責任判明シテ迷フ所ナカラシムルヲ得タリ要スルニ中隊長ハ中隊附士官ヲ教育シテ後日良好ナル中隊長タラシムルノ覺悟ヲ要ス是カ爲メ中隊長ハ常ニ清濁併セ呑ムノ度量ヲ有シ中隊附士官ノ意見具申ハ悉ク之ヲ聽キ用フヘキハ賞揚シテ之ヲ採リ誤レルハ反覆丁寧ニ之ヲ正シ青年者ヲシテ豁然トシテ悟ル所アラシムルト共ニ悅ンテ之ニ服從セシメサルヘカラス中隊附士官ハ中隊長ノ意圖ヲ奉シテ勉勵シ意見具申ヲ採用サレサルコトアルモ不平ヲ思フハ不可ナリ經驗ノ乏シキ者ハ思慮ノ足ラサルコトヲ以テ法規ノ範圍内ニ於テハ總テ中隊長ノ意見ニ隨ヒ自己ノ意見ハ後日ノ參考トシテ手簿ニ記シテ之ヲ存知シ更ニ之ヲ披見スルノ時ハ昔日ノ淺慮ナリシコトヲ覺ルコトアラン且又自己ノ命令ニ下士以下カ不平ノ態度ヲ執ラハ如何ナル感アルカ血氣ノ逸ルコトナク將校ノ德義トシテ中隊長ノ意圖ニ隨ヒ奮勵スルヲ要ス此ノ要點ニ隨フ時ハ軍紀ヲ嚴正ナラシムルコトヲ得ン下官初メテ中隊長トシテ中隊ニ臨ミシニ驚クヘキ次ノ如キ實況ヲ目撃シタリ曰ク特務曹長ハ大隊副官ニ用件アリ直接自己ノ行フヘキモノナルニ拘ラス當番卒ヲ以テ之ヲ辨セン

トシ曹長ノ主計ニ用件アルトキ亦之ニ同シク大隊本部ヨリ臨時使役差出シノ通知受クルヤ週番士官ハ當番卒ヲ使用シ某兵卒ニ臨時使役ヲ達セシメントシ副ノ掃除夫カ證印簿ヲ持參セシニ掃除ノ檢査ニモ行カスシテ捺印セントセリ中隊長タル者斯ノ如キコトヲ等閑ニ附シ何等ノ主義モ立案モナク漠然トシテ之ニ從フノ結果ハ遂ニ其ノ爲ス所ヲ知ラサルニ至リ又閑散ニ苦シムカ如クナラン其ノ半面ニハ大ナル缺陷アルヲ知ラサルヘカラス若シ熱心ニ其ノ職ヲ盡シ責任ヲ全カラシメントセハ必スヤ多忙ヲ感スルナラン以上ハ偶々下官カ接著シタル一ノ事實ナルモ翻テ考フレハ中隊長ノ職ヤ洵ニ繁多ニシテ教育ニ、人事ニ、内務ニ、經理ニ、衛生ニ、自己ノ研究ニ委員或ハ判士等ノ特別業務アルモノヲ以テ頗ル多忙ノモノナリ故ニ計畫ナク之ニ從フトキハ或ル一方ニ偏シ他方ニ空虚ヲ生ス此ノ空虚ハ即チ曠職トナリ犯罪ノ誘因トナルモノナリ是ニ於テカ各週ノ終ニ於テ翌週ニ係ル中隊長業務ノ豫定表ヲ作り萬障ヲ排シテ之ニ從フコト必要ナリ今ヤ軍隊内務書ノ改正ト共ニ中隊長及各委員ノ業務詳細ニ規定セラレ繁閑其ノ宜シキニ從フヲ得ル

ニ至リシト雖モ其ノ以前ニ在リテハ時々甚タ此ノ精神ニ合セサルカ如キ繁務ニ從事シ心私ニ十分ノ成果ヲ得ラレサルヲ遺憾トセシコトアリ即チ下官中隊長タリシ時長年月間被服委員、兵器委員、糧食委員、普通物品會計官吏、將校集會所委員等ヲ同時ニ兼掌セリ其ノ當時ニ於ケル一週間豫定計畫要領ヲ參考ノ爲メ左ニ述フヘシ

古兵教育ニ半日

二回

初年兵教育ニ半日

二回

兵器委員業務ニ

半日

糧食委員業務ニ

半日

物品會計官吏業務ニ

半日

被服委員業務ニ

二日

將校團教育ニ

半日

將校集會所委員業務ニハ必要ニ應シ其ノ日ノ業務ヲ終リタル後之ヲ辨ス

右業務前後ニ於テ尙ホ左ノ事項ニ從事ス

舎内巡視晝間ノ分一週二回、夜間ノ分一週一回、集團精神教育一週一回、個人精神教育ハ必要毎ニ夜間演習ノトキハ必ス出場

銃工場並ニ兵器庫ハ被服庫往復ノ序ニ巡視監督炊事場ハ分配ノトキ炊爨開始ノトキ購

入品受領ノトキ等巡視監督

俸給分配ハ午後演習後自己監督ノ許ニ實施セシメ不在者ノ分ハ其ノ場ニ於テ領置シ尙

ホ金錢使用上ニ關スル注意ヲ爲ス

中隊ヨリ出タル諸勤務者ノ勉否ハ週番士官ヲシテ毎日一回巡察セシム

毎日出勤時ニ於テ昨日來ノ報告ヲ週番士官ヨリ聞キ之ニ對スル處置ヲナシ就中患者ノ

容體ニ注意ス

休暇ノ翌日ニハ營外ノ空氣觸接スル爲メ個人狀態ニ變化ナキヤ否ヤヲ特ニ注意ス

其ノ他内務ノ監督人事ノ處置等細部ニ就テ述フレハ枚舉ニ遑アラサルヘキモ要ハ中隊

ニ於ケル各週豫定計畫ニ基キ要點ヲ網羅スレハ大過ナキヲ得ヘシ
以上多ク多忙ナリシ爲メ常ニ其ノ及ハサル所アラサルカヲ憂慮セリ而シテ其ノ結果ニ對
シ心竊ニ満足シ能ハサルコト多カリシニ常ニ他中隊ニ劣ラサルコトヲ得タルハ實ニ僥倖
トスル所ナリ以上ノ如ク奮勵シ且部下ノ過失ニ對シテ毫モ假借セス嚴格ナル處置ヲ執リ
來リシヲ以テノ故カ就職後一個年ニテ患者犯罪者トモ最少數ト爲リ三十七、八年戰役ノ
爲メ動員下令アリシ時ハ中隊ハ一人ノ病者ナク一人ノ犯罪ナク中隊ニ籍アル者全部戰役
勤務ニ従事シ平素ノ訓練ヲ此ノ千載一遇ノ時ニ試ムルヲ得タルハ大ニ満足セル所ナリ
要スルニ部下ニ對スル親切トハ彼等ノ過失ヲ看過スルノ謂ニアラス彼等ヲシテ本分ヲ盡
シ得ル如ク指導スルノ謂ニシテ犯罪豫防ノ爲ニハ其ノ誘因ノ項ニ述タル弊害ヲ總テ除去
シ得ル如ク取締法ヲ定ムルヲ緊要ナリトス犯罪ノ最モ多キ逃亡罪ニ就テ見ルニ初メヨリ
柵ヲ越ヘテ逃亡スルモノ少ナシ先ツ外出ノ末歸營時限ニ遅レ漸次深入シテ遂ニハ柵ヲ越
ヘテ逃亡スルニ至ルモノナリ故ニ精神薄弱ニシテ特ニ注意ヲ要スルモノハ精神堅固ナル

者若干ヲ以テ戰友ヲ作り其ノ内ノ何人カト同行スルニアラサレハ外出セシメサルコトモ
亦犯罪豫防ノ一案ナラン尤モ此ノ場合ニ於テハ常ニ周密ナル注意ヲ以テ監督セスンハ却
テ弊害ヲ生スルコトヲ考ヘ置クヲ要ス

五 結論

以上ノ所論ハ下官既往數年間ノ經驗ト僅カニ懲治卒百八十名ノ狹少ナル範圍トヲ基礎ト
シテ立論シタルモノナルヲ以テ之ヲ以テ全般ヲ律スル能ハサルモ要スルニ犯罪豫防ハ中
隊長自ラ其ノ品行ヲ正シク熱誠職務ニ勉勵シ統御教育其ノ全キヲ期スルノ誠意アルヘキ
ヲ主眼トシ更ニ進テ犯罪ニ因テ來ルヘキ諸種ノ誘因ハ全力ヲ盡シテ除去スルノ方法ヲ講
スルニ在リ斯ク論シ來ラハ犯罪豫防ノ方法ハ左ノ數言ニ約スルヲ得ヘシ

- 一 職務ニ忠實ナル長官ヲ有スルコト
- 二 個人狀態ノ調査肯綮ニ中ルコト
- 三 統御教育宜シキヲ得テ能ク迷霧ヲ拂ヒ不平ヲ去ラシメ得ルコト

斯クノ如クナレハ軍紀自ラ嚴正トナリ犯罪者絶ユルニ至ルヘキヲ信ス

一 軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
二 軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
三 軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
四 軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
五 軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
六 軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
七 軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
八 軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
九 軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
十 軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
正 議 論
軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ
軍隊ノ教育ハ其旨ヲ修ムルニ在リ

第六章 中隊家庭ニ於ケル注意

A 生

一 兵卒ノ憂慮煩悶ヲ除去スルノ必要

兵卒若シ心中ニ憂慮煩悶ヲ抱クトキハ如何ニ熱心ニ學術ノ教育ヲ施行スルモ進歩遅々トシテ其ノ成果ヲ得ル能ハサルヘシ故ニ兵卒ノ憂慮煩悶ヲ除去シテ愉快々タル心情ヲ有セシメ兵營生活ヲ樂マシムルコトハ獨リ家庭主義ニ協フノミナラス有形上ニ於ケル教育ノ成果ヲ善良ナラシムル所以トス上官若シ兵卒ニ向テ心中何カ心配ナキヤト問ハハ多クノ兵卒ハ之レ無シト答フルナラン然レトモ人トシテ憂慮ナキモノ稀有ナルヲ以テ例令兵卒ハ口ニ顯ハサスト雖モ其ノ内心ヲ洞察スレハ憂慮煩悶ヲ藏有セサルモノ殆ト無カラシ

兵卒ノ憂慮煩悶ヲ除去スルノ必要

兵營ハ諸方ヨリ集合セル他人ノ團隊ニテ且ツ衣食住ノ状態起居四圍ノ景況其ノ他耳ニシ目ニスル所ノモノ皆入營者ノ精神ヲ興奮セシメ憂慮煩悶ヲ增長惹起スル媒介タラサルナシ兵卒カ父母兄弟親友怡々トシテ無情ノ山川草木スラ温情慰藉ヲ與ヘツツアル故郷ヨリ一躍シテ兵營ニ入り來ルハ正ニ慈母ノ懷ヲ脱シテ虎口ニ投セシ感ナキニシモアラサラン教育程度劣等ニシテ才智經驗ノ乏シキモノ程他人群集ノ境遇ニ身ヲ入ルルヲ悲觀スルモノトス

以上ノ關係ニヨリ多クノ兵卒ハ心中ニ一種ノ憂慮煩悶ヲ懷抱セルモノナルヲ以テ上官ノ部下ニ對スル親切心ハ先ツ此ノ憂慮煩悶ヲ除去スルコトヨリ始メサルヘカラス

一 實家生活難ヨリ來ル憂慮ノ除去法

曾テ部下ノ兵卒中二名實家貧困ニテ本人入營ノ爲メ生活難ヲ増加シ爲メニ軍人後援會ヨリ扶助ヲ受ケ居リシコトヲ本人除隊後軍人後援會々報ヲ見テ始テ發見シタルコトアリ

在營間兵卒ハ自家々計ノ貧困ナルコトヲ他人ニ知ラルルヲ恥チテ之ヲ口外セサルノミナラス其ノ他種々ナル原因ニ依リ上官ト雖モ斯クノ如キ事ヲ知り得サルコト比較的有リ勝ナリトス

之ニ鑑ミテ翌年初年兵ノ入營スルヤ極力兵卒ノ身元ヲ精探セシ結果中隊ニ四名此ノ種ノ貧困者アリシヲ發見セリ一ハ家ニ齡六十以上ノ老父母病氣ニテ殘留シ一ハ三名ノ幼年ナル弟妹家ニ殘留シ他ノ一人ハ老年ノ母ト幼年ノ妹殘留シ他ノ一ハ最近ニ執達吏ノ爲ニ財產差押ヲ執行セラレタルモノナリシ(中ニ當然家事故障ノ故ヲ以テ徵兵猶豫ノ恩典ニ浴シ得ヘキ者ヲ出願期日ヲ後レタルタメ之ニ浴スルヲ得スシテ入營シ來リシ者アリ)斯ノ如キ憂慮者ニ對シテハ上官同僚ハ之ヲ慰藉スルノミナラス上官ハ本人ヨリ詳細家計ノ狀況親族其ノ他ノ關係ヲ聽取シテ適當ノ方案ヲ授ケテ本人ニ若干時日休暇ヲ與ヘテ歸省セシメ家事ノ始末都合ヲ講セシムルカ又ハ親族者ヲ中隊ニ招キテ協議スルカ若シクハ中隊長ヨリ直接本人故郷ノ町村長地方有力者、在郷軍人團ニ協議シ依頼シテ本人ノ憂慮煩悶

ヲ輕減スル處置ヲ取ルヲ必要トス又兵營ヨリ近キ土地ノ出身者ニハ休日ニ早朝ヨリ歸省セシメ家事ノ補助ヲ爲サシムルヲ得ハ好都合ナラン

三 家族不和ニ基ク憂慮ノ除去法

此ノ種ノ憂慮者比較的多シ之ヲ細別スレハ概ネ次ノ如シ

- 一 繼父母殊ニ繼母ノ薄情ニ基クモノ
 - 二 自己ノ妻ト父母タル舅姑トノ不和ニ基クモノ
- 一兵卒ノ學力ハ高等小學ヲ卒ヘ相當ノ才智ヲ有シ僧侶ヲ職トナセシニモ拘ラス入營前一度竊盜犯ノ刑ヲ受ケ入營後モ逃亡竊盜ノ刑ニ觸レタルコトアリ本人ノ身元ヲ精探セシニ父ハ村内ニ德望ト地位アリテ助役ノ公職ヲ有シ居ル程ナルモ家ニハ一人ノ繼母アリテ而モ繼母ノ本人ニ對スル毫モ愛情ナク且本人ハ長子ナルヲ以テ之ヲ廢嫡シテ自己所生ノ子ヲ家督相續トナサン意ニテ種々ナル手段ヲ以テ本人ト實父トノ間ヲ不和ナラシメタル爲

メ本人ハ不平ヲ起シ偏屈ナル性情トナリ終ニ墮落シテ刑餘ノ者トナリシコトヲ確メ其ノ性行ヲ矯メンニハ先ツ家庭ノ不和ヲ柔ケ親子ノ關係ヲ穩ニスルノ捷徑ナルヲ感シ本人ノ父ニ面會熟談シテ漸ク兩者ノ感情ヲ融和セシメタル結果從來品行不正ナリシモノモ豹變シテ眞面目トナリ終ニ他兵ニ優ル成績ヲ維持シテ滿期除隊セリ」此ノ他ニモ冷酷ナル繼母ヲ有セシ者アリ其ノ憂情ヲ訴ヘテ曰ク繼母アル爲メニ戀々タル故家ニ到リ實父ト共ニ生活スル能ハス天地到ル處樂シキ場所ナシト大ニ厭世悲觀ノ狀アリシヲ以テ特ニ慰藉ト獎勵トヲ與ヘ決シテ憂慮失望スヘキコトニ非ラス奮發シテ軍務ヲ完全ニ果シ歸郷後モ熱心職業ヲ力メ誠實品行ヲ正シ以テ繼母ノ信用ト愛情ヲ買ハサル可カラスト世上ノ實例ヲ引證シテ訓戒シタルコトアリ

曾テ小學ノ教師ヨリ聞ク繼母ヲ有スル子弟ハ大概精神何トナク曲折不正ニシテ顔色容貌自ラ一種ノ異狀ヲ呈シ一見シテ繼母ヲ有スルヲトシ得ル程ナリト是レ實ニ愛情薄キ繼母ノ取扱ヲ受クルモノハ自然ニ身神ニ變化ヲ起シ憂慮ト苦惱トヲ有スル證據ニテ精神ニ曲

折變化ヲ來スハ當然ノ勢ナリト。謂ハサルヘカラス上官タルモノ須ク注意セサルヘカラス

第二ニ屬スル所謂嫁ト姑トノ不和ナルモノ亦世上多ク其ノ例ヲ見ル處ニシテ兵卒タル本人カ入營前家ニ在ル間ハ兩者ヲ融和シ平穩ヲ保テルモ本人家ニアラサルトキハ兩者軋轢不和ヲ生シ而モ之ヲ仲裁スルモノナキヲ以テ不和倍々増長シ兵卒ノ許ニハ兩者ヨリ我田引水のナルコトヲ訴ヘ來リ兵卒ハ一方ハ最愛ノ妻ナルヲ以テ之ヲ保護スルノ念慮アルモ一方ハ親ナルヲ以テ其ノ意ニ逆フノ非ナルカ故ニ處置ニ苦ミ徒ニ憂慮シ煩悶スルニ至ル斯ノ如キ兵卒アルトキハ中隊長トシテ本人ノ意志ヲ聽取シ常識ニ訴ヘテ判斷シ親族ノ者ニ面會シテ協議處分スルカ又ハ地方ノ有力者ニ依頼シテ盡力セシムル等適宜ノ處置ヲ取リ兵卒ヲシテ安ンセシム可シ

四 過去ノ不正行爲ニ關スル憂慮ノ除去法

兵卒ノ不正舊行爲中最モ多キハ情婦ニ關係セルコトナリトス曾テ或ル中隊ニ一年間ニ情婦ニ起因スル二ノ出來事アリタリ一ハ入營前ノ情婦カ兵卒入營後他ニ嫁スルヤ兵卒ハ其ノ變心ヲ怒リ其不貞ヲ怨ミ終ニ兵營ヲ脱シテ情婦ノ郷里ニ到リ之ヲ殺害セントシテ手下シ遂ケスシテ本人ハ轢死ヲ果シタリ他ノ一名ハ平素極メテ元氣ノ者ナリシカ突然不元氣ノ状態ヲ現シ終ニ病氣ト稱シテ就床スルニ至リシヲ以テ裏面ノ狀ヲ精探セシ結果入營前關係セシ情婦カ兵卒ノ夫婦契約ヲ履行セサルコトヲ怒リ郷里ヨリ來ツテ數日間兵營附近ニ宿泊シ日々兵營ノ周圍ヲ徘徊シ本人ニ面談ヲ計リシニ本人ハ慚愧ト畏懼ニ堪ヘ兼テ終ニ憂慮ノ餘リ身神ニ異狀ヲ呈セシモノナルヲ發見シ特務曹長兩者間ニ入りテ圓滿ニ解決シタリ

情婦ノ關係ハ實ニ兵卒ニ憂慮煩悶ノ苦ヲ與フルノミナラス犯罪自殺等ノ直接動機タルコトアルヲ以テ上官タルモノハ充分之ヲ精探シテ適當ノ處置ヲ取ラサル可カラス
婦女子ニ關スル件ヲ精神訓戒トシテ語ルハ餘リ宜シカラサルコトナルモ事實大ナル利害

アルヲ以テ中隊長ハ初年兵ノ入營後婦女子ノ多クハ信用スヘカラサルコト男子ノ身命天職ハ女子夫レヨリ數倍貴重ナルコト婦女子ハ一種ノ惡魔ナルコト婦女子ニ關係シテ時間金錢思慮ヲ消費スルハ不利益ニシテ不忠ノ行爲タルコト等ヲ懇々訓戒シテ自重心ヲ喚起セシムルヲ要ス

右ノ外不正舊行ニ關スル憂慮トハ通常次ノ如シ

- 一 入營前他人ヨリ借財シテ未返却ノ儘入營シ返却ノ途ナキニ苦シムモノ
 - 二 入營前買物ヲナシ代價未拂ノ儘入營シ來リシ者
 - 三 不正舊行ヲ衷心後悔シテ憂慮スル者
 - 四 三等症ニ罹リタルヲ憂慮スル者
- 曾テ某隊初年兵中右ノ一ニ該當シ債權者ヨリ憲兵隊ニ告訴スルトカ警察署ニ告訴スルトカ恐喝サレ爲メニ大ニ憂慮煩悶シ居リシヲ上官發見シ早速本人ノ實父ト協議シテ無事ニ解決シタルコトアリ

三、四ニ該當スル者ニ對シテハ精神上ノ訓戒ト慰藉ヲ必要トス但シ此等ノ者ノ中ニハ裏面ノ不正行爲ヲ中隊長其ノ他中隊附將校ニ知ラルルヲ特ニ懼ルル者アルヲ以テ此等ニ對シテハ將校ハ知ラサル風ヲナシ特務曹長ヲシテ内々慰藉訓戒セシムルヲ有利トスルコトアリ曾テ某隊古兵性質温良ナルモノアリシカ一回誤テ青樓ニ足ヲ入レ爲メニ惡疾ニ罹リシニ大ニ之ヲ苦慮シ終ニ身神ニ變化ヲ來シ自殺ヲ企ツル疑アリシカ幸ニ戰友ノ覺知スル處トナリ中隊ノ幹部注意監視シ事ナキヲ得タルコトアリ

初年兵中入營前賭博犯ニテ刑ノ執行猶豫ヲ受ケ居ルモノアリ此等ハ入營後一種ノ慚愧ト憂慮トヲ抱キ居ルノミナラス此ノ事ヲ上官カ知り居ルヤ否ヤヲ甚ク掛念スル者アルヲ以テ上官ハ表面ニハ知ラサル風ヲナシ裏面ニハ周到ナル願慮細密ナル注意ヲ拂フヲ肝要トスルコトアリ

五 小膽者憂鬱者愚鈍者等ニ對スル取扱法

小膽者憂鬱者ハサナキタニ平素意氣消沈シ鬱々タル状態ニテ例令他ノ者カ比較的神經ヲ刺戟セサル些事ト雖モ頗ル鋭敏ニ感スル者ナルヲ以テ其ノ取扱法ニハ特別ナル顧慮ヲ要ス。此ノ種ノ者ハ顔色容貌自ラ憔悴シ居常交際談話ヲ厭ヒ群集ノ中ヲ忌ミ人ノ居ラサル場所ニテ沈思默考ニ耽ル風アルヲ以テ少シク注意シテ視察スレハ之ヲ發見スルコトヲ得ン曾テ某隊古兵ニテ憂鬱性ニ罹リシモノアリ他ノ兵卒ト共ニ内務班ニ居ルヲ厭フ風アリシヲ以テ特務曹長ハ聯隊ノ電話室當番ニ當テタリシニ本人ハ大ニ喜ヒ漸次ニ之ヲ恢復シタルコトアリ兵卒中愚鈍ニテ甚タシキハ白痴ニ近キ者年々中隊ニ一二名ハ入隊シ來ルヲ例トス此等ノ者ハ如何ニ上官カ熱心ニ學術ヲ教育スルモ毫モ進歩セス學科ノ如キ教フルニ從テ益々忘却スルト言フ狀況ナルモノアリ之カ爲メ下士上等兵ハ不熱心ナリト誤判シ憤怒シ呵嘖スルノミナラス終ニ同僚モ之ヲ蔑視シ除外視スルニ至ル本人ハ斯ク四圍ヨリ愚物視セララル爲メ意氣愈々消沈シ中ニハ愚鈍ニアラサル者モ自ラ自己ヲ愚物ト信スルニ至リ何事モ拙劣他人ニ及ハストナシ終ニ真正ノ愚鈍者ト化シ終ルコト其ノ例抄カラス

或年初年兵中ニ小學校教員ヲ勤メ居リ學力才智普通ノ兵卒以上ナルニ係ラス步調拙劣ナリトテ教育班附下士上等兵ヨリ劣等者ノ取扱ヲ受ケタル爲メ非常ニ意氣消沈シ軍隊ノ事ハ萬事至難ニテ到底力及ハスト甚タシク失望シ居リシヲ認メタリ斯ノ如ク素質優等ナル兵卒スラ劣等者ノ取扱ヲ受クルトキハ失望ノ餘元氣衰へ成績低下スルモノナリ況ンヤ實際白痴ニ近キ愚鈍者ヲ蔑視シテ取扱フトキハ愚ハ益々愚トナルコト當然ナリトス若夫レ愚鈍者入隊シ來ランカ之カ教育感化ハ實ニ至難ニテ名狀スヘカラサルモノアランモ是レ實ニ天皇陛下ノ爲メナリ國家ノ爲メナリ軍隊教育ノ大任ヲ負ヘル將校ノ本務ナリ教育ノ趣味ノ存スル處ナリト覺悟シテ此ノ精神的不具者ノ一人ヲ救済スルヲ期セサル可カラス

又愚鈍者中往々慢心強ク他人ヨリ優レリト自信スルモノアリ曾テ初年兵中無學ニシテ教育ノ成績最劣ナル者得意然トシテ劈頭第一ニ下士ヲ志願シタルコトアリ斯カルトキハ下士上等兵ハ一言ノ下ニ罵倒シ去ルコトヲ常トスレトモ斯クノ如キ事ハ不可ナリ寧ロ此ノ

意氣ヲ利用シテ奮發勉勵セシムルヲ可トス。要スルニ以上ノ小膽者、憂鬱者、愚鈍者等ニ對シテハ全ク醫師カ病氣ノ種類ニ應シテ投藥ノ種類ヲ異ニスル如ク特別ナル感化ノ方法指導ノ手段ヲ講セサル可カラス。

又兵卒中所謂新平民ナルモノアリ此ノ種ノ者ハ常ニ肩身ノ狭キヲ感スルノミナラス他人ヨリ輕蔑ヲ受ケ易キモノナルヲ以テ上官タル者ハ特別ノ注意ヲ拂ヒ又成ルヘク本人カ新平民ナルコトヲ一般ニ知ラシメサル如クスルヲ要ス。

六 境遇ノ變化ニ基ク憂慮ノ除去法

古語ニ曰ク居ハ氣ヲ移スト實ニ然リ壯丁ノ入營後生活狀態ノ異ナルト其ニ其ノ精神狀態ノ變化スル原因及之ニ關スル注意概ネ次ノ如クナラン。

1 生來兩親ノ膝下ニ居リテ未タ他人集合ノ中ニ生活セサルモノカ突然入營スルニ依ル

2 衣食住起居等總テノ事カ從前ト全然異ル爲メ不安不快ノ念ヲ起スニ依ル

3 入營前世人ヨリ兵營ハ辛キ處ナリト聞キ及ヘル爲メ此ノ觀念腦中ニ浸ミ居リテ所謂赤色眼鏡ニテ諸物ヲ見ルトキハ萬物皆赤色ナル如ク自然ニ兵營ヲ悲觀スルニ依ル

以上ノ觀念憂慮ヲ除去スルニハ兵營ノ生活ヲシテ和氣霽々タル家庭タラシムルヲ要ス

4 入營前遊蕩無賴ノ生活ヲナシ居リシ者突然規則正シキ起居生活ヲナス爲メ其ノ窘束ニ耐ヘサルニ依ル

5 入營前職業ノ關係上多額ノ小遣錢ヲ費消シ飲食ノ慾ヲ擅ニシ居リシモノカ入營後贅澤ナル生活ヲナス能ハス其ノ苦ニ耐ヘサルニ依ル

右ハ諸所出稼ヲ爲シ居リシカ又ハ賭博ヲ業トシ居リシカ如キ流浪的境遇ニ在リシ者ニ多シ而シ終ニハ兵營生活ノ苦ニ耐ヘサル爲メ逃亡犯罪自殺等ヲナスニ至ルコトアリ上官ハ

精神訓戒ヲ以テ矯正スルト共ニ充分監視監督ヲ怠ラサルヲ要ス

七 兵卒ニ平素希望ノ光明ヲ認識セシムルノ必要

泰西ノ語ニ曰ク「希望ハ人ヲシテ活カシム」希望ナキモノハ精神的ニ死セルモノナリト然リ人誰カ希望ヲ懷キ希望ノ爲メ生活シ居ラサルモノアラシヤ

「天ヨ自由ヲ與ヘヨ然ラスンハ死ヲ與ヘヨ」ト如何ニ希望ト生命ノ對等位ニアルヲ明證セル語ソ

諺ニ一寸ノ虫ニモ五分ノ魂ト孟子ハ曰ク匹夫ト雖モ其ノ志ヲ奪フヘカラスト今夫レ入營當初初年兵ノ顔貌ヲ一瞥スレハ何レモ單純ナル思想ノ如クナレトモ其ノ裏面ヲ洞察スレハ複雑ナル思想ヲ抱カサルモノハアラサルヘシ人ノ日々ノ生活ニ活氣ヲ添ヘ勇氣ヲ與フルモノハ實ニ希望ノ光明トス吾人ハ兵卒ヲシテ日々喜ヒ樂ンテ兵營ニ生活セシムル爲メ一ハ在營間ノ軍務上ニ對シテ一ハ滿期後ノ處世

上ニ對シテ希望ノ光明ヲ認識セシムルヲ最大必要ト信ス

八 在營間軍務上ニ對スル希望ノ光明

兵卒ノ習得スヘキ教練ナリ技術ナリ學科ナリ勤務ナリ總テノ軍務ニ關シ今月ハ五迄進歩セシ故來月ハ七迄來月ニ至ラハ八迄又來々月ハ九迄ノ程度ニ進マント絶エス兵卒ニ自奮心ヲ有セシムル如ク指導スルヲ可トス之レカ爲メニハ教育者タルモノハ兵卒ヲシテ何事ニモ嗜好心ヲ起サシメ所謂「はりあい」ヲ與ヘ熱心努力スレハ必ス伎倆進歩スヘク伎倆進歩スレハ有形無形上利益ヲ得ルモノナルコトヲ心中ニ瞭然自悟セシムルヲ要ス伎倆優秀ナルモノハ之ヲ盛ニ賞シ伎倆劣等ナルモノハ忽チ之ヲ貶シ去ルハ往々教育者ノナス處ナリト雖モ苟モ家庭主義ヲ基礎トスル今日ノ教育法ニハ斯ノ如キ疎略ナル教育法ハ容ル可カラス伎倆劣等又ハ成績不可ナル者アラハ先ツ當人ノ身神ノ狀況ヲ觀察シ其ノ原因ヲ探求シ何カ故ニ劣等不良ナルカヲ考慮シ教育法ニ不可ナル點アラハ先ツ之ヲ改良スルコト

ヲ計ルヘシ又兵卒ニ一點賞スヘキ探ルヘキコトアラハ之ヲ賞賛獎勵シ兵卒ニ自奮ノ精神ヲ喚起シ進歩ノ希望ヲ抱カシムヘシ但シ不熱心者ヲ咎メ責ムルニ假借ヲ要セサルハ固ヨリトス

例之素質劣等ナル兵卒カ五丈ケノ伎倆ヲ現ハシ一方ニハ素質優等ナル者カ八丈ケノ伎倆ヲ現ハシタリトセンカ皮相ノ見ヲ以テスレハ後者ヲ賞スヘキコト當然ナレトモ若シ前者ノ方伎倆ノ程度稍劣レリト雖モ其レ丈ケニ進歩スルタメ苦辛勉勵後者ヨリ大ナルモノアリトセハ先ツ之ヲ賞セサル可カラサルナリ

今月ハ何々ノ事ニテ上官ヨリ賞セラレタル故來月ハ尙ホ褒賞休暇ヲ得ル様勉勵セン或ハ先日ハ親戚ノ者カ面會ニ來リシ時中隊長ヨリ品行方正ナリトテ親戚ノ面前ニテ賞賛サレシヲ以テ次期父カ面會ニ來ラハ同様賞辭ヲ受クル様勉勵セント期待心ヲ起サシムルヲ要ス

月々附與スル褒賞休暇ノ如キ又須ク之ヲ善用シテ獎勵的ニ與フルニアラスンハ効果尠シ

要スルニ絶エス兵卒ヲシテ希望心ヲ抱カシムルヲ必要トス斯クノ如クスルトキハ又兵卒ハ一面ニ於テ自己身上ノ憂慮ヲ忘却スルニ至ルモノナリ

九 滿期後ノ處世法ニ對スル希望ノ光明

軍隊内務書ニ中隊長ノ職務中「種々ノ手段ヲ盡シ精神教育ニ從事シ心性ヲ改善向上シテ在營間忠良ノ軍人タリ歸郷ノ上ハ軍人ノ本分ヲ忘レス其ノ職業ニ精勵スル淳朴ノ國民タル資性ヲ養ハシムルヲ要ス」ト

斯ク滿期後善良ナル國民タルノ資格ヲ涵養シ且滿期後ノ處世上ニ希望ノ光明ヲ抱カシムルトキハ兵卒ハ人トシテ此ノ世ニ生存スルハ何ノ爲メナルカノ眞意ヲ了解シ夫ノ妄ニ些々タル事ニ鐵道線路ニ赴キ貴重ナル身命ヲ棄ツル如キ愚ヲナササルヘク無事神妙ニ現役ヲ終リ在營間鍛鍊セシ身神ヲ以テ社會ニ出テ充分男子トシテノ効果ヲ擧ケントスル眞正健全ナル人生觀ト主義トヲ抱クニ至ラン

斯ノ如ク啓發スルニハ上官ハ兵卒ニ對シテ

- 1 人生ト職業トノ意義價值ヲ訓戒スルコト
 - 2 立志成功ノ實例ヲ訓戒スルコト
 - 3 普通學ヲ獎勵スルコト
 - 4 各人ノ處世法(滿期後ニ於ケル)ニ關シテ其ノ相談相手ニナルコト
- 等ヲ必要トス普通學ノコトニ關シテハ前述セルヲ以テ茲ニ省略ス
- 兵卒ハ平素滿期後ノ處世法ニ關シテハ種々頭腦ヲ惱マスナラン而シテ其ノ相談相手タルヘキモノヲ有セサルヲ以テ中隊將校ハ本人ノ性質伎倆家族ノ關係等ヲ斟酌シテ有利適切ナル方法ヲ教示スルヲ可トス

一〇 戰友組合

中隊内ニテハ全般ニ兵卒相互親密ニシ情誼德義ヲ守リテ交際スルコト勿論ナルモ尙ホ此

ノ中ニテ特別ノ交際的關係ヲ保タシムル爲メ戰友組合ヲ設クルヲ可トス戰友組合ハ三名ヲ以テ一組トシ宛モ世間ノ組合ノ如ク其ノ誼ヲ盡サシムルヲ本旨トシ喜憂哀樂困苦安逸ヲ共ニシ肝膽相照シ善惡勸懲シ協力同心シテ事ニ從フヲ目的トス三名ヲ組ミ合スニモ兵卒長短ヲ補ハシムル如ク配合ヲナスヲ必要トス例令ハ兵卒ノ出身地學力賢愚性質品行職業等ヲ顧慮シテ組ミ合セ以テ品行不正ナルモノハ方正ナルモノニ感化セラレ粗暴ナルモノハ温和ナル者ニ見倣ヒ正直ナルモノハ狡猾ナル者ヲ感化シ同情心ニ富メル者ハ憂鬱者ヲ慰藉スル如ク爲スヲ必要トス

上官ハ三人ノ友誼カ單ニ在營間必要ナルノミナラス戰時ニモ共ニ手ヲ携ヘテ水火ノ中ニ投シ或ハ互ニ戰場ニ骨ヲ拾フノ程度ニ迄至ラサルヘカラサル事ヲ會得セシムヘシ日曜日ニ外出ヲナスニモ戰友組合ニテナシ萬止ムヲ得サルトキハ班長ノ許可ヲ得テ行動ヲ別ニシ又ハ他ノ者ト共ニスル如ク規定ス

平素室内ノ整頓ナリ掃除ナリ一人缺點アリテ他ノ者カ當然協力補助ヲ與フヘキヲ與ヘサ

ル如キコトアラハ他ノ者モ共ニ咎メ又一人病氣ノトキハ他ノ者看護ヲナシ其ノ武器被服ノ手入ヲナスコト等固ヨリトス以上ノ如ク戰友組合圓滿ニ行カンカ上官ニハ打チ明ケ得サル身上ノ事モ互ニ打チ明シ從テ一人不幸又ハ故障起ラハ他ノ二人之ニ對シテ援助慰藉ヲ與ヘ若シ力ニ及ハサルコトアラハ上官ニ申シ出テ適當ノ處置ヲ仰カシムヘシ

一一 精神教育ヲ各個的ニ施行スル必要

各個教練ハ部隊教練ノ確乎タル基礎ニテ教練上最モ樞要ナル位置ヲ占メ居ル如ク中隊ニ於テ施行スル訓育即チ精神教育モ亦實ニ各個教育主義ニ依ラサル可カラズ夫レ兵卒ノ心性ナリ氣風ナリ差別アルコト其ノ面ノ異ナルカ如シ入營前ノ境遇ナリ入營後ノ觀念ナリ德義心ノ深淺ナリ又十人十種ナルヘシ故ニ甲乙各人ニ應シテ各異ナル教育手段ヲ取ルノ必要アルヤ固ヨリニシテ醫師カ病人ノ種類ニ應シテ投藥ノ種類ヲ替フル如ク精神教育ハ精神の病氣ノ種類ニ應シテ投藥即チ訓育セサル可カラサルナリ

精神講話ノ如キモ單ニ兵卒全部ヲ集合シテ訓戒ヲナスノミヲ以テ満足スヘカラス時日手段ヲ要スルコト大ナルモ中隊將校、特務曹長ハ機ニ乘シ時ニ觸レテ兵卒一名宛招キテ綿密ニ各人ノ身上性行意向等ニ適應スル訓諭ヲ與フルヲ必要ト認ム

一二 兵卒ノ境遇經歷ニ關スル注意

先哲曰ク其ノ人ヲ知ルハ既ニ教育ノ大半ヲ達成セリト宜ナル哉言ヤ實ニ兵卒ヲ訓育シ感化セントセハ先ツ入營前ニ於ケル境遇經歷ヲ審査シ之ニ伴フ心理状態ヲ明察シ而シテ之ニ適應セル指導法ヲ施スヲ肝要トス

某將軍曾テ部下ニ訓戒シテ曰ク初年兵入營ノ際ニハ個人状態ノ調査ヲ終ラサレハ教育ヲ開始スル勿レト實ニ至言ト謂フヘシ

身上調査ノ必要ナル夫レ斯クノ如シ今左ニ如何ナル境遇ニアリシ者ハ如何ナル性行ナル乎如何ナル經歷ヲ有スル者ハ如何ナル心理状態ナルカ特ニ注意スヘキ要點ヲ列舉セン

トス

一 兵卒ノ遺傳性ニ注意セヨ諺ニ曰ク瓜ノ蔓ニ茄子ハ生セス鶏ハ驚ヲ生セスト實ニ善良ナル遺傳性ヲ有スル者ハ其ノ性行善良ナルモ之ニ反シ不良ナル遺傳性ヲ有スル者ハ其ノ性行不良ナルハ爭フヘカラサル通則トス但シ此ノ例外アルコト固ヨリ言ヲ俟タス善良ナル遺傳性ヲ有スル兵卒ヲ教育スルハ易ケレトモ不良ナル遺傳性ヲ有スル兵卒ヲ陶冶シテ之ヲ矯正救治スルコトハ最モ困難ニシテ亦實ニ樞要ナル事トス

遺傳性ハ單ニ性行ノ善惡ニ關係スルノミナラス親族ノ有機的素因例令ハ父兄ノ病身、父兄ノ飲酒癖、父兄ノ瘋癲白痴、父兄ノ梅毒性、結核性等其ノ精神上ノ狀態ヨリ種々ノ病的現象ニ至ル迄影響ヲ及ホスモノナルヲ以テ身上調査ニ關シ最モ詳密ニ調査スルヲ必要トス

二 兵卒ノ經歷セル境遇ニ注意セヨ後天的境遇ハ人ノ品性精神ニ影響ヲ及ホスコト遺

傳性ニ次クモノトス抑、不良ナル境遇ヲ經歷シタル者ハ必ス不良ナリト斷スルヲ得サルモ不良性行者ハ必ス不良ナル境遇ヲ經歷シタルモノナリト斷スルヲ得ルコト事實上ノ證明スル處ナルヲ以テ特ニ留意ヲ要ス

三 兵卒ノ家庭狀況ニ注意セヨ家庭ノ狀況カ個人ノ性行ニ關シテハ非常ナル影響ヲ及ホスコト喋々ヲ俟タスシテ明ナリ不良ナル家庭ニ生育シタル者ハ朝夕見聞シ接觸スル所ノモノ概ネ不良不正ナルヲ以テ自然ニ之ニ化育セララルルニ至ルモノトス實ニ家庭ハ品性陶冶ノ基礎ニシテ個人カ受クル學校教育社會教育ヨリモ家庭ノ教育ニ偶然ナランヤ若シ夫レ兵卒中不良家庭ニ生育シ來リシ者アリトセンカ須ク充分ナル監視ト監督ヲ必要トスルコト言ヲ俟タサル所也

四 繼父母ニ養育セラレタル兵卒ニ注意セヨ世上ノ有様ヲ見ルニ多クノ繼父母ハ繼子ヲ虐待スル結果繼子ノ精神ヲ曲折シ偏屈ナラシメ猜疑心嫉妬心深ク酷薄冷情タル

- ニ至ラシムルモノトス故ニ繼子タル兵卒ニハ教育上特別ナル留意ヲ要ス
- 五 私生兒タル兵卒ニ注意セヨ統計上私生兒ナルモノハ之ヲ正當ナル夫婦關係ノ間ニ生シ靄々タル家庭ニ養ハレシ者ニ比較スレハ其ノ品性ノ上ニ於テ種々ナル障礙ニ遭遇シ延テ不良傾向ヲ現ハスニ至ル者頗ル多シ抑私生兒タルヤ社會ヨリハ一般ニ輕蔑セラレ冷淡ニ待遇セラレ且ツ其ノ家庭多ク貧困不良ニシテ之カ教育扶持ニ充分ノ力ヲ注キ兼ヌルト其ノ他種々ナル事情纏綿シテ自ラ品性劣等ニ精神不良ナルニ至ルモノトス斯クノ如キ兵卒ニハ教育上注意セサル可カラス
- 六 孤兒タル兵卒ニ注意セヨ孤兒ハ或ハ父ヲ失ヒ又ハ母ヲ失ヒ若シクハ父母共ニ之ヲ失ヒシ如キ者ニシテ多クハ家庭ノ教育ヲ缺キ家庭ノ情味ヲ解セス又完全ナル學校教育ヲモ受ケサル者多キヲ以テ斯クノ如キ兵卒ニハ特ニ教育指導ノ周密ト懇篤トヲ肝要トス
- 七 貧困ナル家ノ兵卒ニ注意セヨ最モ貧困ナル下層社會ニ於テハ子弟ニ相當ナル學校

教育ヲ受ケシメス家庭ノ狀況又不良ナル者多キヲ以テ從テ子弟ノ品性精神善良ト謂フヲ得サルモノアリ監督上注意ヲ要ス

- 八 兵卒ノ職業ニ注意セヨ經驗上統計ノ示ス所ニヨレハ概シテ農業ニ從事セシ者ハ品性善良ニシテ之ニ反シ工業勞働ニ服務セシ者ハ其ノ品行不良ナル者多シトス
- 九 兵卒ノ學校教育ノ程度ニ注意セヨ個人品行ノ善惡ハ實ニ入營前ニ於ケル學校教育ノ多少ト密接ノ關係ヲ有シ教育ノ缺乏セル者ハ品行不良ナル者多シ是レ理論上及ヒ實驗上明證スル所トス從テ普通教育ノ程度劣等ナル兵卒ノ教育ハ一層盡力ヲ肝要トス

- 十 兵卒ノ出生居住地ニ注意セヨ町市都會ニ成長シタル者ハ田園村落ニ成長シタル者ニ比較スレハ其ノ品行不良ナルモノ多シトス固ヨリ村落ニ於テモ風俗習慣不良ナル者ナキニアラサルモ總シテ都會ニハ危險ナル誘惑及機會多クシテ之ニ感染シ易キモノトス加之都會ノ者ハ田園ノ者ヨリハ身體意志共ニ薄弱ニテ從テ道德上不健

全タルヲ免レサルモノトス近來歐米各國ニ於テ田園都市ナルモノノ研究熱度高マリシハ主トシテ此ノ弊ヲ救正セントスルニアリ實ニ村落ノ空氣ハ人ニ元氣ヲ附與シ忍耐カヲ増進シ意志ヲ鞏固ナラシムルモ之ニ反シ都會ノ空氣ハ人ヲシテ浮薄ナラシメ孱弱ナラシメ不耐ナラシムルモノトス都會ニ成長シタル者ハ以上ノ如キ缺點ヲ免レサルモ敏捷圓轉ニシテ進取快活ノ特長ヲ有スルヲ以テ此ノ長所ヲ倍々發揮セシムルト共ニ其ノ缺點ヲ矯正スルヲ要旨トス又之ト共ニ村落ニ成長シタル者ハ其ノ朴訥質直ニシテ温良從順ナル美質ヲ益々増進セシムルト同時ニ敏捷進取ノ氣風ヲ養成スルヲ計ルヘシ

十一 飲酒ノ性癖アル兵卒ニ注意セヨ飲酒度ヲ過クル時ハ獨リ身體ノ中心ヲ失フノミナラス精神上ニ於テモ亦中心ヲ失フモノニシテ種々ナル過失ハ飲食上ヨリ起リ易キモノトス要之飲酒ノ性癖ヲ有スル者ハ第一智力ノ發達ヲ阻害セラレ第二ニハ身體ノ健康ヲ害セラレ第三ニハ道德觀薄弱トナリ第四ニハ不良行爲ヲ醸成シ易キモノナルヲ以テ教育及監督上注意ヲ要ス

一三 兵卒ノ體質氣質ニ關スル注意

イ 體質氣質ノ種類

各人各異ノ體質アリテ之ニ相應スル氣質ヲ有スルコトハ生理學上及ヒ心理學上ノ原則タルヲ以テ兵卒ヲ教育シ指導シテ圓滿ナル結果ヲ得ントセハ教育者タルモノハ先ツ此ノ原則ヲ熟知シ甲兵卒ハ如何ナル體質ト之ニ伴フ氣質ヲ有スル乎乙兵卒ハ如何ナル體質ト如何ナル氣質トヲ有スル乎ヲ觀察シ其ノ長所ヲ發揮セシメ強點ヲ増進セシムルト共ニ短所ヲ矯正シ缺點ヲ消滅セシムルヲ肝要トス

人ノ體質ニハ概略四種アルモノトス曰ク多血質、膽液質、神經質、粘液質是ナリ以下之ヲ詳述セントス

ロ 多血質ノ兵卒ニ對スル注意

多血質ノ者ハ一般ニ快活ニシテ元氣アリ一見才氣迸出シ喜怒哀樂激烈ニ外貌ニ現ラハレ身體ハ大抵肥大眼光鋭ク眼球動搖ス常ニ活潑々地トシテ活動シ鼓舞獎勵其ノ宜ヲ得ル時ハ能ク奮發勉強スルモ一旦失望頓挫スル時ハ意氣消沈再興三起スルノ勇氣ナシ其ノ俗ニ使ヒ方ニ依ツテ互エモシ鈍リモシ又藥ニモナリ毒ニモナルト謂ハルル者ハ概シテ此ノ質ニ屬ス又多情多感ニテ忽チニ憤慨スル風アリ從テ上官ニ服シ易ク同僚ノ爲メ心勞ヲ吝マシテ盡力スル美德ヲ有スルモ時トシテハ不平不滿ヲ懷キ惡事ノ發頭者ト爲ル如キ缺點アリ」此ノ體質氣質ノ者ヲ遇スルニハ以上ノ長所短所ヲ熟知シ之ニ注意シテ教育スルヲ要ス

ハ 神經質ノ兵卒ニ對スル注意

神經質ノ者ハ一般ニ身體瘠セ丈高ク胴比較的長ク骨格細ク即チ細長ナル頸ヲ有シ長大ナル頭ト地藏形ノ肩トヲ繋ケリ顔色蒼白眼球大首稍傾キ步調早ク眼光餘リ動カサルモ動クトキハ光鋭シ其ノ氣質多クハ沈靜若クハ憂鬱ニシテ活氣ニ乏シク苦慮シ易ク他人ノ一

舉一動ヲ微細ニ注意シ而モ自身ノ行爲ハ成ル可ク他人ノ目ニ觸レサランコトヲ努ム俗ニ所謂遠慮勝ノ苦勞性ナル者ナリ其ノ外面ニ現ハルル行爲ハ千差萬別ナルモ中ニハ始終無意識的運動ヲナシ妄ニ眉ニ八字皺ヲ寄セ或ハ身體ノ整確不動ヲ缺ク女子ハ男子ヨリ神經質ナリ此ノ種ノ者ハ女子的氣質ヲ含有ス夫ノ學科ノ際試問ニ答解スルヲ躊躇シ或ハ衆人ノ前ニテ各個教練等ヲナサシムル時ハ赤面シテ恥羞ヲ感スル如キハ此ノ體質ノ者ナリ一般ニ理解記憶ノ能力比較的發達セルモ舉動輕浮小事ニ煩悶シ易シ之ニ屬スル者ハ善良ノ方向ニ進ム時ハ教育ノ効著シク殊ニ前記ノ多血質ト結合スル時ハ健全完美ノ人格ヲ形成スルモ若シ又次期スル處ノ粘液質ト結合スル時ハ憂慮迷信猜疑邪推等ノ忌ムヘキ者トナル

斯ノ如キ兵卒ヲ遇スルニ努メテ其ノ精神ヲ快活剛毅ナラシムル如ク指導スヘシ其ノ待遇法ニ一步ヲ誤ル時ハ精神ヲ屈折シ易キ恐レアルモノトス

ニ 膽液質ノ兵卒ニ對スル注意

此ノ體質ノ者ハ多血質ノ者相似セル點多ケレトモ其ノ差ヲ舉クレハ則チ多血質ハ行動快活ナルモ膽液質ハ牢重前者ハ輕快ニシテ頗ル彩色ニ富ムモ後者ハ重厚ニシテ自ラ沈著ナリ此ノ質ノ者ハ身體肥大頭大頸手足短クシテ胴體長シ其ノ氣質タルヤ所謂喜怒哀樂色ニ顯ハサス常ニ從容トシテ迫ラサル風アリ多血質ノ如ク活動スルモ其ノ變移多血質ノ如ク激シカラズ善方面ニハ剛毅朴訥若シクハ意志強固ナル語ヲ以テ評スルヲ得ルモ一步ヲ誤ル時ハ頑固不敵強情執拗等ニ傾キ易キ風アリ

最初一見シテ好人物ナルカ惡人物ナルカ又從順者ナル乎不從順者ナル乎ヲ識別シ難キ者アリ是レ多ク此ノ種ノ體質者ナリ上官ニ服スル稍々冷淡ノ感アリ些少ノ訓戒呵責ハ深ク意ニ介セサルモ一旦肝銘シタルコトハ永久背カス神經質ノ如ク銳敏伶俐ナラサルヲ以テ一ヲ聞キ十ヲ知リ一隅ヲ上クレハ他ノ三隅ハ言ハスシテ解スル如キ趣キナケレトモ一度了解シタル事ハ永ク忘レズ群衆ノ間ニ立チ之ヲ善良ノ方向ニ導キ危急ノ大事ニ際シテ巍然動カス迷ハサル能力氣力ヲ有スルモノナリ

ホ 粘液質ノ兵卒ニ對スル注意

此ノ體質ハ一言ニシテ評スレハ平凡者ト謂フ可キ者ニシテ多血質膽液質ノ如ク身體肥大ナラス英氣ヲモ有セス神經質ノ如ク舉動精細ナラス顔面何等特色ナク眼光亦弱氣ヲ缺ケリ忍耐力ヲ相當ニ有シ沈著莊重ノ風アリ智能ノ活動ハ神經質ノ如ク銳敏ナラスシテ遲緩感情ノ表顯ハ多血質ノ如ク激烈ナラスシテ平靜意志ノ發動ハ膽液質ノ如ク強烈ニアラスシテ薄弱ナリ且ツ日常ノ起居動作重厚ニシテ輕快ヲ缺クモノ多シ練兵休憩間ニ於テ快活ニ運動談笑セスシテ庭隅ニ蟄居スル如キハ此種ノ者トス

ヘ 一般ノ注意

以上記載セル所ハ四種ノ體質氣質ノ主ナル徵候ヲ舉ケタルニ過キス特ニ注意スハキハ膽液質ノ者或ハ其ノ他ノ種質者ト雖モ全然模型的ノ如キ者アルコトナク又各人カ判然此ノ四種質ニ區別シ得ラルル者ニアラスシテ實際ハ四種質相錯綜シテ現ハルルモノニシテ絶對ニ四種ノ或ル一ノミヲ有セルモノ稀有トス從テ例之多血質七分ニ神經質三分ノ如キモ

ノアレハ神經質勝リテ他ノ質ハ殆ント感知スルヲ得サル如キ者モアラン
且ツ夫レ其ノ稟賦ニ於テ種々差違アル所ノ者カ種々ナル境遇ニ處シ様々ナル經歷ヲ有シ
千態萬狀複雑錯綜セルモノアルヲ以テ教育者タル者精細ニ兵卒ヲ觀察スルコト極メテ必
要トス

一四 醫學上自殺豫防ニ關スル注意

近時種々ノ關係上世上一般ニ自殺者頻生ノ結果軍隊ニ於テモ亦自殺者増加ノ傾向ヲ見ル
人或ハ此ノ現象ヲ以テ直チニ之ヲ軍隊ノ罪ニ歸スルモ是レ全ク世上一般趨勢ノ餘波ノ然
ラシムル處ニシテ必スシモ軍隊ノ特生ト謂フヲ得サルナリ是レ實ニ統計學上ノ證明スル
處トス

然リト雖モ斯クノ如キ不祥ノ現象ハ極力之ヲ軍隊家庭ヨリ減少否消滅セシムルコトヲ勉
メサル可カラス然ラサレハ軍隊ニ於ケル家庭教育ノ存在ヲ疑ハルルノミナラス 陛下ノ

忠良ナル赤子ヲ不幸ノ淵ニ投シ帝國ノ戰鬥力ヲ減スルノ不利ヲ醸生スルモノナレハナリ
家庭ノ和樂圓滿ト教育周到トヲ勉メハ庶幾クハ斯クノ如キ不祥事ハ之ヲ減少シ之ヲ消滅
セシムルヲ得ルモノタルヤ疑ヒ無シ

吾人カ本書ニ於テ縷々説述スル處ノ家庭ノ教育ト注意トハ間接ニ自殺者豫防ノ積極手段
ナルコト言フ俟タサル所ナルモ今醫學上ヨリ觀察シタル自殺豫防法トシテ三等軍醫正菅
沼藤一郎氏ノ曾テ公ニセラレタル説ハ頗ル有益ナルヲ以テ之ヲ引用シテ其ノ要旨ヲ論究
セントス

- 一 自殺者ニ就テ觀ルニ其ノ不幸ナル終末行爲ヲ遂行スル迄ニ精神健康ナル如ク見ユ
ル者モ其ノ多クハ單ニ斯クノ如キ外觀ヲ有スル迄ニシテ醫學上精神狀態ノ解剖ニ
依ルトキハ前々ヨリ既ニ業ニ憂鬱病ノ傾向ヲ有シ精神作用障害サレアルヲ論斷セ
ラルルコト多シトス

- 二 實驗上軍隊ニ於ケル精神病患者入營ノ初期ニ最多ナルヲ常トス蓋シ精神病的素因ア

ル者ハ入營時境遇ノ變化ト同時ニ爆發シ素因ナキ者ハ身神ノ鍛練ト共ニ確乎タルニ至ルモノナレトモ素因輕キモノ初年ニ爆發セス後年身神ノ變轉ニ際シ身神ノ劇勞ニ乘シ始メテ之ヲ發スルコトアリ

三 多クノ場合精神障害ノ發現スルニ先チ其ノ前驅即チ普通人ノ爲ス可カラサル状態ヲ呈スルヲ常トスルモ此ノ前驅ノ發現タルヤ勤務ノ爲メニ抑壓セラルルコト多シ殊ニ初年兵教育期間ハ周圍ノ者繁劇ナル爲メ戰友ヨリハ不注意ニ看過サレ上官ヨリハ低能者ト見做サレ終ニ精神ノ不健康者タルコトヲ何人ニモ認知セラレヌ其ノ間ハ或ハ勤勞ヲ缺キ或ハ微罰行爲ヲナシ時ニハ法廷ニ送ラルルコトアリ

四 軍隊ニ於ケル犯罪者ニシテ再三之ヲ反覆スルモノハ精神不健康ナルヲ以テ特ニ注意ヲ要ス

五 次ノ如キ現象ヲ呈スル兵卒ハ大ニ注意ヲ要ス則チ罹病セサルニ病アリト信シ或ハ輕易ノ症ヲ誇大視シテ之ヲ苦ニスル者虛言我儘猜疑心嫉妬心著シキ者事毎ニ一種

ノ恐怖ヲ有シ事業ノ遂行ヲ障礙スル者諸事凡テ中庸ヲ失シ考慮偏頗想像力異常空想ニ耽リ喜怒變化シ易ク又神經疲勞シ易キ者持續性質沈鬱ニシテ人ト交際セス舉動閉息のニシテ睡眠不安頭重ク心中頻リニ悔悟ヲ來シ快樂ヲ感セサル者行爲興奮性ニテ常ニ沈著ヲ缺キ不注意輕躁ニシテ冒險ノ傾アリ思考頗ル淺薄ニシテ同情心乏シク他人ヲ嘲弄シ之ニ苦痛ヲ與フルヲ好ム者高所恐怖不潔恐怖閉鎖恐怖傳染恐怖等ノ恐怖心ニ驅ラレ苦悶スル者頻リニ懷疑ヲ爲シ例之手紙ヲ投函スル際切手ヲ貼ラサリシヤ又封筒内ニ入レタル書狀カ間違ハセサルヤト疑ヒテ苦悶スル者浮浪癖竊盜癖アル者情慾病的同性愛情ヲ有スル者我利自己主義強ク動物虐待ヲナシ不信不孝怠惰亂行遂ニ犯罪行爲ヲナスニ至ル者觀察力銳敏伶俐ナル如クナルモ忍耐力ニ乏シク意志薄弱容易ニ厭世觀ヲ發スル者等はナリ

此等ノ輕症ナル精神異常者ハ或ル動機ニ依リ精神病ニ移轉シ或ハ自殺行爲ヲ敢テナス如キ事容易ナル恐れ在ルモ普通人士ハ之ヲ精神健全者ト區別鑑識スルコト難

六 キヲ以テ其ノ取扱法當ヲ失スルコト多シ初年兵時代最モ細心留意スヘキコトトス
精神ノ羸弱ナル者即チ精神病的素因アル壯丁ヲ可成入營セシメサルコト又精神病
者トナレル兵卒ニハ速ニ適當ナル保護ヲ加フルコト緊要トス

七 兵卒身上明細簿ニハ左ノ諸調査ヲ爲シ詳記シ置クヘシ

- 1 本人ノ直系若クハ傍系親族者ニ犯罪者自殺者精神病者癲癇神經痛麻痺等ノ
神經病ニ罹リタル者ナキヤ
- 2 本人祖父母等ニ微毒ニ罹リタル者ナキヤ
- 3 本人ノ近親中ニ酒客ノ有無
- 4 本人ノ氣質品行小學時代ノ成績
- 5 本人犯罪ノ有無
- 6 本人ハ曾テ疾病ニ罹リ若クハ外傷ヲ受ケタルコトナキヤ
- 7 本人ハ曾テ精神ニ異常アリシコトナキヤ又出産ノ時難産ニアラザリシヤ

- 8 本人ハ酒ヲ嗜ムヤ
- 9 家庭及家計ノ状態

以上ノ記述ハ何時、誰、如何ノ程度等成ル可ク精確ニ記スヘシ但シ例之遺傳系統
ニ在ル者ト雖モ直チニ之ヲ悉ク排除スヘキニアラス斯カル家族ヨリモ精神的ニ非
難ナキ人物ヲ得ルコト承認セラレハナリ故ニ斯クノ如キ個人ニシテ諸種ノ檢
査ニ合格セル以上ハ之ヲ兵ト爲シ置キ將校以下戰友ハ軍醫以下看護手ト協同シテ
其ノ精神状態ヲ監視シ適時適宜ノ處置ヲ取り得ル如クナシアルヲ要ス
八 兵卒カ勤務上其ノ他ニ過失ヲ犯シタルトキハ將校ハ行爲者ノ心理的動機ヲ研究シ
其ノ行爲者ノ責任能力ニ就テ穩健ナル疑ヲ插ミ之ヲ軍醫ニ協議スヘシ此ノ際大ニ
參考トナルヘキハ前記セル個人ノ經歷調査ナリトス
九 初年兵入營當初期中隊ト軍醫ノ密ナル連絡及初年兵ト關係上官ノ絶エサル接觸ハ
異常ナル性格疑ハシキ精神状態ヲ機ニ先ンシテ發見スルヲ有利ナリトス

- 一〇 初年兵中身體異常アル者理解力記憶力ノ乏シキカ爲メニ成績不良ナル者アルモ此等ノ者ニ特ニ演習ヲ頻繁ナラシメ或ハ不時稽古其ノ他之レニ類スル劇勞ヲ爲サシメ遂ニ過勞ヲ來シ心神ヲ壓抑シ憂鬱ニ陥ラシメ或ハ之ニ加フルニ厭世思想ヲ發生セシムル等ノ事アルヘカラス
- 一一 氣温ノ温度ハ萬物ニ影響ヲ及ホシ自殺ノ如キモ春暖ヨリ漸ク其ノ數加ハリ初秋ニ達シテ減少ス故ニ精神能力ノ度ニ疑ヒアル者ニ對シテハ此ノ候ニ至リテ一層ノ監視ヲ加ヘ適時ニ適當ノ處置ヲ取ルヲ要ス
- 一二 軍人ノ自殺方法中第三位ノ高位ヲ占ムルハ銃劍ナリトス故ニ實彈射擊等ニ際シテハ其ノ彈數ニ充分ノ注意ヲ拂ヒ決シテ一發タリトモ隱匿シ得ル餘地アラシムヘカラス即チ演習終ルヤ直チニ現場ニ於テ數ノ符合セサル以上ハ彈藥盒ハ勿論背囊被服全部ヲ検査スルヲ要ス又彈藥受領分配等ノ任ニ當ル者ハ最モ信任スヘキ者ヲ選ヒ且ツ嚴重ナル監督ヲ爲ササル可カラス今日迄モ敢テ此ノ注意ヲ懈ルニアラサ

ルモ是ヲ使用スル者アルハ概スヘキコトナリ其ノ他空包ニ依テモ又自殺シ得ル者ナレハ是レ又注意セサルヘカラスナルナリ

- 一三 犯罪ノ疑ヒアルモノ又ハ過失アリテ悔悟セル者等ハ自殺者ノ大部ヲ占ム故ニ中隊ニ在リテハ是等ノ關係アル者ニ對シテ常ニ監視ヲ怠ラサルト同時ニ前者ニハ速ニ適度ノ處置ヲナシテ自殺行爲ヲ爲シ能ハサル如クシ後者ニハ慰撫ヲ與ヘテ心ヲ安ンセシムルヲ要ス

- 一四 疾病アル者ハ速ニ受診セシメテ適當ノ手段ヲ取り決シテ長ク兵舎ニ置キ徒ニ兵ニ苦惱ヲ與フルコトナキヲ要ス殊ニ神經系統ノ疾患アルトキハ速ニ入院セシムヘシ夫ノ遺尿症ヲ恥テ自殺セル者アルカ如キハ幹部ノ處置宜シキヲ得タルモノト言ヒ難シ

- 一五 酒中毒ハ著シキ自殺ノ原因ナレハ多量ノ飲酒ヲ戒ム可シ
- 一六 下士卒ニ多人數共同シテ日曜下宿等ヲ有セシムルハ其ノ行動放縱淫佚トナリ爲

メニ身神ヲ破壊セシムルノ媒タラシムルノ虞アルカ故ニ之ヲ避クルヲ可トス蓋シ
 彼等ヲシテ此ノ境遇ニ在ラシムルハ最モ情的ニシテ智的ヲ缺ケリ夫ノ群ノ行動即
 チ妄想的の生活ニ陥ルノ傾キアレハナリルボン氏曰ク群ハ常ニ無意識ニ由リ支配サ
 ルト戒ムヘキナリ

一七 近來軍隊ノ自殺者ニモ原因ヲ厭世ト認メラルル者アルニ至レリ故ニ各人ノ講讀
 スル書物ニ充分注意ヲ向ケ之ヲ監督セサル可カラス

一八 田舎ノ兵營ヨリモ都會ノ兵營ニ於テ自殺者多キヲ見ル故ニ散歩等ニハ成ルヘク
 都市ノ方向ヲ避クルヲ可トス

一九 入營ト同時ニ境遇頓ニ變化シ初年兵ノ精神ニ刺戟ヲ與フルコト著シキモノアリ
 故ニ若シ素因アル者ニアリテハ精神病ヲ發スルコト容易ナリ此ノ際教育者タル幹
 部ニ多少苛酷ニ類スル行爲アラシカ其ノ害ノ及フ所實ニ寒心ニ堪ヘサル者アリ蓋
 シ現今尙ホ病類表上鼓膜裂傷ノ少ナカラサルヲ見ルハ此ノ項未タ必スシモ杞憂ト

爲ス能ハサルモノアラン故ニ將校ハ下級幹部ノ行動ニ晝夜監視ヲ絶タス不當ノ行
 爲アル者ニ急速適當ノ處置ヲ加フヘシ現今モ尙下級幹部中初年兵ニ對スル舉動時
 々非難スヘキモノアルヲ見ルハ戒ムヘキ件ナリ

二〇 兵ノ過失ニ關シテハ苛酷ノ叱責ヲナスコトナク却テ温和ニ訓諭スルヲ要ス然ラ
 サレハ心弱ク事理ニ未通ノ初年兵ヲシテ終ニ手ノ出ツル所ヲ知ラサラシメ或ハ逃
 亡若クハ自殺等ヲ企ツルモノ無キヲ保セス又兵ヲ叱スルニハ或ハ「腹ヲ切レ」或ハ
 「死ネ」等ノ言語ハ假ニモ發スヘカラス是ニ由テ恰モ催眠術(ヒブノチスムス)ニ於
 ケル暗示(ズツダスチラン)ノ作用ヲ爲スニ至ルモノアレハナリ

二一 初年兵ニ孤獨ノ感ヲ有セシメサランカ爲メ多數ノ同郷人ト共ニ同中隊ニ在ラシ
 ムルカ如クスル方法ハ有利ナリ

二二 曾テ腸「チブス」又ハ熱中病ニ罹リシ者其ノ病ノ治癒後多數ノ日子ヲ經テ精神病
 ヲ發シ自殺ヲ企圖スル者アルハ精神病學上著明ノ事實ナリ故ニ是等ノ病ヲ經タル

者ニツキ平常此ノ方面ノ監視ヲ怠ラサルト同時ニ注意ヲ緻密ニシ且ツ日射病傳染

病等ノ豫防ヲ嚴施セサルヘカラス

二三 精神病患者ニ於テ最大ノ危険ト同時ニ最大ノ慘酷ノ發起ハ當該者ノ精神狀態カ病的ノモノトシテ適時ニ認識セラレサルニ在リ而シテ此ノ要求ノ實行ハ軍醫ニ精神病學ノ普及ヲ今ヨリ一層完カラシムルニアリ故ニ本學ノ獎勵ヲ唱道セサルヘカラス

二四 軍醫ハ兵卒中犯罪ヲ重ヌル者又ハ逃亡者アル毎ニ必ス通報ヲ得テ詳カニ之レカ精神的検査ヲ遂行セサルヘカラス入營倉者ノ體重測定ノミヲ以テ能事終レリトスルハ盡セリト謂フヘカラス

二五 縦合肉體的疾病者ナリトモ已ニ病アル以上ハ偶々其ノ者ニ過失等アル際健康者ト同様之ニ譴責等ヲ加フルハ躊躇スヘキコトナリ宜シク其ノ治療後迄之ヲ遷延スヘシ

二六 精神病ト診定セラレタル者ハ通例可成の速ニ除役スヘシ是レ縦合一時輕快スルモ已ニ素因アルモノナレハ機會ヲ得ハ容易ニ再發スルモノナレハナリ

第七章 被服裝具手入及使用法教育上ノ注意

A B 生

一 帽衣袴取扱ニ關スル注意

- 一 徽章絨其ノ他變色ノ憂アルモノハ時機ノ許ス限リ風乾スルヲ可トス之レ日乾ハ品質ニ依リ甚シク褪色スルモノナレハナリ
- 二 帽ハ其ノ形狀ヲ變セサル如ク丁寧ニ取扱フヘシ之カ爲著脱ノ際ハ前庇ヲ持ツヘシ帽衣袴格納ノ際ハ能ク乾燥セシメタル後手入ヲナシ特ニ毛織物類ニ在リテハ毛竝ニ從ヒ必ス除塵ヲ行フヘシ汚染及塵埃ノ附著ハ多ク微菌ノ媒介トナリ往々腐蝕及蟲害等ヲ蒙ルモノナレハナリ
- 四 衣袴格納ノ際ハ爲シ得レハ火熨斗ヲ用ヒテ皺ヲ伸シ其ノ形狀ヲ整ヘ襟及袖附肩章等

帽衣袴取扱ニ關スル注意

- 要部ノ形狀ヲ變セサル如ク注意シ袴ノ疊付ハ膝以下ヲ内外側ノ縫目ニ合セ膝ヨリ上部ハ漸次外側縫目ヲ前方ニ出シ胯割ニ於テ約八分トナルヲ度トシ然ル後左右ノ内側縫目ヲ適合セシメ所要ノ長サニ折疊スヘシ
- 五 濕潤シ若クハ重量アル被服ヲ一本ノ折釘等ニ垂下スルトキハ其ノ折釘ニ對スル突起狀ヲ生シ之カ數回ニ及フトキハ遂ニ局部ヲ突破スルニ至ルモノナリ鈎紐ヲ使用スル場合ハ敢テ妨ナシト雖モ否ラサルトキハ其ノ重量ヲ二ヶ所以上ニ分托シテ斯カル損所ヲ生セサル様注意スヘシ
- 六 被服寢具等ハ兵卒各自清潔ニ洗濯スヘキモ屢之ヲ行フトキハ地質ヲ弱クスルモノナレハ成ルヘク汚ササル様注意スルコト必要ナリ

二 肩章臂章等ノ附著位置寸法

肩章ハ其ノ外縁ト袖ノ附根ト間隔ヲ八分トシ肩章ノ後端ヨリ其ノ全長ノ約四分ノ一ノ點

ヲ肩ノ中心線ニ位置セシム」臂章ハ左臂ニ附著シ其ノ位置ハ肩ノ縫目ヨリ下ルコト約四寸トス

星章ノ先端ハ常ニ上方ニ在ラシムルモノトス
其ノ他ハ軍服々制圖例ヲ参照スヘシ

三 被服ノ手入法ニ關スル注意

- 一 帽子
- イ 使用中ノモノハ毎日刷毛ニテ除塵スヘシ
- ロ 前庇ノ接際部ハ特ニ留意シテ除塵スヘシ
- ハ 濕潤シタル爲メ止ムヲ得ス火ニテ乾燥スル場合ニハ前庇願紐縁革等ヲ直接火氣ニ觸レシムヘカラス

二 外套衣袴

被服ノ手入法ニ關スル注意

- イ 除塵法及刷毛使用法帽子ニ同シ
 - ロ 汚染及塵埃等ノ附著シタルトキハ速ニ除去スヘシ然ルトキハ手數輕易ニシテ完全ニ其ノ目的ヲ達シ得ヘシ
 - ハ 物入蓋卸劍吊卸及尾錠ハ格納ノ際之ヲ脱シ黃銅製品卸ハ紙片ニ包ミ置クヲ可トス
 - ニ 袴及各衣囊ハ時々裏返シ内部ノ除塵ヲ行フヘシ
 - ホ 縫際ノ部ハ特ニ留意シテ除塵スヘシ
 - ヘ 泥土ノ附著セシトキハ能ク之ヲ乾シ地質ヲ損セサル如ク揉除シ後刷毛ヲ用フヘシ
 - ト 飯粒糊等ノ附著セシトキハ布片ヲ濕シ徐ニ拭去スヘシ
- 三 靴
- イ 靴ノ手入ハ保存ニ大ナル關係アルノミナラス其ノ良否ハ直ニ外觀ノ美ニ關ス故ニ

- 其ノ手入ヲ完全ニスルハ靴ヲ愛護スル所以ニシテ穿用者ノ等閑ニ附スヘカラサルコトナリ
- ロ 手入法ハ毎日刷毛ヲ以テ能ク塵埃ヲ拭拂シ又甚シク泥土ノ附著セシトキハ水石鹼ヲ以テ洗滌シ之ヲ蔭干ト爲シ其ノ生乾ヲ俟テ手入油ヲ塗布シ常ニ甲革ノ軟質ヲ保全スルニ努ムヘシ
 - ハ 靴ハ如何ナル場合ト雖モ直接火氣ニ觸レシムヘカラス
 - ニ 始メテ支給ヲ受ケタル新靴ハ其ノ貯藏ノ必要上給油ノ量ヲ最少限ニ止メアルヲ以テ穿用ニ際シテハ充分之ニ給油セサルヘカラス殊ニ「アヒルス」躰ノ接觸ハ後革ト月型革ト重複シアルヲ以テ此ノ部分ニ對シテハ特別多量給油シ力メテ柔軟ナラシメサルヘカラス長時日間給油ヲ怠リ甚シキハ板ノ如クナルトキハ獨リ靴傷ヲ起スノミナラス皮革ノ保存ニ關スルモノトス
 - ホ 穿靴ニ附テハ假令些末ノコトト雖モ看過スヘカラス周到ノ注意ヲ拂ヒ殊ニ前項ノ

事柄ハ靴ヲ穿用スルモノノ日常服磨スヘキモノトス

四 襟 布

雪白ナルヲ可トス故ニ屢洗濯シ成シ得レハ火熨斗ヲ用ヒテ皺ヲ伸スヘシ

五 脚 絆

卷脚絆ハ使用後先ツ舍前ニ於テ能ク塵埃ヲ拂ヒ後刷毛ニテ更ニ除塵ヲ行ヒ正シク卷キ置クヘシ麻脚絆ハ新品ナルトキハ一度水ニ浸シ地質ノ縮ミタルノチ脚ニ合セテ卸ヲ付ケ替フヘシ留革ノ過度ニ長キモ短カキモ共ニ宜シカラス又使用後ハ塵埃ヲ拂ヒ若シ泥土等附著セシトキハ洗濯ヲ行フヘシ

六 襦袢袴下

イ 不潔ナルハ醜キノミナラス衛生上害アルヲ以テ屢洗濯スヘシ袖口襟部股間ハ殊ニ丁寧ナルヲ要ス

ロ 洗濯ハ夏期ニアリテハ毎週少クモ二回(爲シ得レハ毎日)冬期ハ一回行フヲ可トス

ハ 破綻及釦ノ脱落等ハ直チニ修理ヲ爲スヘシ

七 靴 下

イ 靴下ハ特ニ注意シテ屢洗濯ヲナシ常ニ清潔ナラシムヘシ洗濯ヲ怠レハ管ニ不潔ナルノミナラス直チニ破損スルモノナレハナリ

ロ 靴下ハ表裏互ニ穿ツヲ保存上有利トス

八 上 靴

室内及其ノ他特ニ許可セラレタル場所ニ於テノミ穿ツモノトス若シ之ヲ穿チテ地面ニ踏ムトキハ縫目ヲ腐シ直チニ穿用シ能ハサルニ至ルヘシ

九 寢具類

イ 毎週少クモ一回日光ニテ乾燥スヘシ

被服ノ手入法ニ關スル注意

ロ 敷布枕覆等ハ特ニ不潔ナラサル様屢洗濯スヘシ

ハ 毛布ハ能ク振り拂ヒテ除塵スヘシ

ニ 包布内ニハ毛布ノ最良品ヲ容ルヘシ

ホ 枕及藁蒲團ハ穀穀ノ脱出セサル如ク常ニ注意スヘシ

十 水筒及飯盒

イ 「アルミニウム」ハ酸類及鹽類ニ遇ヘハ腐蝕ス故ニ水筒、飯盒ニ是等ノ含有物ヲ

入ルルヲ避クヘシ

ロ 使用後ハ丁寧ニ洗濯シ之ヲ倒ニ懸吊シ内部ニ水氣ヲ滯ラシムヘカラス

十一 背囊

磨刷毛ニテ丁寧ニ除塵ヲ行ヒ又革ニハ適度ニ給油スヘシ

十二 刷毛

イ 刷毛ハ常ニ清潔ニシテ脱毛アルヘカラス

ロ 絨刷毛ハ帽衣袴外套磨刷毛ハ背囊革具等ノ除塵ニ用ヒ三角刷毛ハ靴ノ泥土ヲ落シ

手入油ヲ塗抹シ洗濯刷毛ハ名ノ如ク洗濯ニ用フルモノトス

四 被服補修ノ注意

一 損所ノ修理竝破綻ノ憂アル部分ニ豫防的工術ヲ施シ成ルヘク大破ニ至ラサル以前ニ於テ補修ヲナスヲ要ス

二 總テ修理材料ハ成ルヘク被服ニ適當ナル地質即チ組織ノ強力新古ノ程度竝染色適否等ハ選擇スヘシ

三 強力ノ平均ヲ得サルモノ若ハ斜紋織ニ毛織地ヲ使用シテ補修スルカ如キハ屈伸上ノ權衡ヲ失シ到底満足ナル結果ヲ得ル能ハサルモノナリ

四 材料ノ應用上已ムヲ得サル場合ノ外ハ褪色セシ古品ニ新品ヲ縫著シ若クハ縞柄ヲ縦横ニ混用スルカ如キハ外觀上成ルヘク之ヲ避クルヲ可トス

- 五 總テ修理用ノ當切レハ破損ノ局部ヨリ稍大ナルモノヲ用ヒ其ノ周邊ニハ破損セサル工術ヲ施シ置クヲ要ス
- 六 破綻及小修理ハ各自之ヲ爲シ修理困難ニシテ外觀ノ美ヲ損スルカ如キモノハ修理ヲ申立ヘシ

五 軍靴破損ノ狀態及修理ノ時機

- 一 靴ノ破損部ハ固ヨリ一定ノ箇所ニ限ルモノニアラスト雖モ畢竟多クノ物ニ觸レ緊迫、壓抑、摩擦等ヲ受クル箇所ニ最モ多キモノトス
- 二 底部ニ在リテハ爪先及踵ハ最モ破損多ク甲部ニ在リテハ爪先等ノ兩側及屈曲部並踵趾頭ハ破損シ易キ箇所ニシテ其ノ他ノ箇所ハ殆ト例外トシテ可ナリ
- 三 底部ニ於ケル破損ハ爪先ニ於テハ踵趾ト小趾トニ對スル部分ニシテ踵ニ於テハ外側後部ニ多ク其ノ例ヲ見ルモノトス

- 四 所謂足癖ニヨリ踏附ノ外部ト踵ノ外側ノミヲ偏減スルモノアリ斯クノ如キハ甲部ニ於テモ外側ニ踏ミ開キ甚シキハ爪先革ノ外部及月型革ノ外側ヲ踏ミ破ルニ至ルモノアリ

- 五 靴ノ小型ナルモノ(足ヲ壓迫スルカ如キモノ)ヲ穿ツモノハ多ク底革ノ爪先端ト踵ノ後部ヲ損シ大型ナル靴ヲ穿ツモノハ踏附ト踵ノ前部ヲ損ス而シテ前者ハ主ニ爪先ヲ壓下シテ不踏ヲ上ケ後者ハ爪先ヲ反リ上テ不踏ヲ壓下スルヲ普通狀態トス
- 六 甲革ノ破損ハ多ク底部ノ偏減ニ伴ヒ踏附ノ外側又ハ踵趾根ノ部ヲ踏破スルモノ多シト雖モ概シテ小型ナル靴ヲ穿ツモノハ其ノ破損極テ多クシテ踵趾頭上(爪先革ノ)破孔ヲ生スルカ如キ若クハ爪先ト後革トノ縫目ヲ破ルカ如キハ過小ノ靴ヲ穿ツモノニ最モ多キモノトス

- 七 靴ノ破損ハ又其ノ穿用者ノ平素ニ於ケル取扱ノ如何ニヨリテ破損ノ程度ヲ異ニスルハ勿論ニシテ其ノ不注意ナル穿用ノ破損ニ出タル一例ヲ舉クレハ短靴ノ踵月型革ヲ

踏ミ潰シテ恰モ上靴状ヲナセルモノアリ或ハ雨雪中穿用シタル靴ヲ焚火ニ乾シ底部ヲ焼損シタルモノアリ斯クノ如キハ到底修理ヲ施スコト能スシテ遂ニ廢品ニ歸セシムルモノナリ

八 以上破損ノ状態ニ深ク留意シ適當ノ時機ニ於テ修理ヲ加フルヲ要ス若シ其ノ時機ヲ失シ根底ヲ破損スルトキハ(例之半底ヲ踏破リ尙ホ底縫糸ヲ踏破ルカ如キ場合)修理ニ不便ナルノミナラス保存上甚タ不利ナレハナリ而シテ其ノ時機ハ豫メ一定セスト雖モ編上靴ノ如キハ概ネ皮革ノ破損セシ時ヲ以テ適當ノ時機トシ尙ホ甲部ノ破綻或ハ踵ノ磨滅等總テ大破ニ至ラサル間ニ於テ修理ノ手續ヲ爲スヲ要ス

六 洗濯上ノ注意

一 凡ソ被服ハ衛生、外觀及保存上常ニ清潔ナルヲ要ス之ヲ保存センニハ主トシテ洗濯ノ方法ニ據ルヘシト雖モ其ノ種類ニ依リ洗濯ノ方法ヲ異ニスルモノ即チ左ノ如シ

- イ 毛織物ハ洗濯ニ依リテ收縮スルノミナラス「アルカリ」性ニ對シテ地質ヲ脆弱ナラシムルモノナルカ故ニ此ノ點ニ付テハ最モ注意スルヲ要ス而シテ其ノ適法ハ水一升ニ上等石鹼約二匁五分ノ溶液ニ少シク臭味アル程度ニ「アンモニヤ」ヲ入レ微温湯トシ之ニ除塵シタル毛織物ヲ入レテ輕ク振盪シ後數回水洗スヘシ又乾燥ニ際シ日光ノ直射スルトキハ著シク收縮スルモノナレハ適度ニ緊張シテ皺ヲ生セサル如ク注意シ且ツ迅速ニ乾燥セシムルヲ可トス
- ロ 木綿及麻織物類ハ「アルカリ」性ノ溶液中ニ能ク浸シタル上洗濯刷毛ニテ摩擦シ若クハ手ニテ揉洗ヒテ汚染ヲ除去シ水洗シテ乾燥スヘシ又雨期ニ於ケル洗濯ニシテ濕潤長時ニ亘ルトキハ往々黒色ノ斑點ヲ生シ殆ト除去シ難キニ至ルモノナレハ斯ル損害ヲ蒙ラサル様注意スヘシ

二 洗濯ヲナスヘキ時機左ノ如シ

イ 汗濕セシ時

洗濯上ノ注意

ロ 汗汚附著セシ時

洗濯ハ多ク汚垢ニ浸染セサル以前ニ行フヘシ汚染シタルモノヲ長ク放棄シ置クトキハ地質ヲ損シ其ノ洗濯ニ多クノ時間ト勞力ヲ要スルニ至ルモノナリ
ハ 汗濕及汚垢附著ノ程度ニ依リ固ヨリ一定スルコト能ハサレトモ通常毎週一回夏期ハ毎日一回洗濯スルヲ可トス

三 洗濯ノ計畫ハ概ネ左ノ如クナルヘシ

イ 著換ノ有無竝ニ課業ノ繁閑ヲ顧慮スルコト
ロ 天候及業間ノ時間ヲ見計フコト
ハ 洗濯ヲ要スルモノハ豫メ準備スルコト
ニ 洗濯ニ要スヘキ物品ハ其ノ洗方ヲ異ニスヘキモノ或ハ種類ヲ區別シ整頓シ置クコト

四 洗ヒ方ハ左ノ如クナルヘシ

イ 洗濯物ヲ無暗ニ水槽又ハ桶ニ滿ササル如クシ充分洗フヘキ餘地ヲ存スルコト及汚染ノ程度ヲ斟酌シ異種類ノ物(例之襟布靴下ノ如キ)混洗セサルコトニ注意スヘシ

ロ 通常洗濯ハ洗濯臺上ニ載セ石鹼ヲ附著シ洗濯刷毛ニテ表裏兩面ヨリ摩擦シ若クハ手ニテ洗フヘシ

ハ 襦袢袴下類ニ在リテハ特ニ襟、腋下袖口膀等ヲ周到ニ洗フヘシ

五 濯方ハ左ノ如クナルヘシ

イ 總テ洗濯ハ濯キヲ肝要トス
ロ 濯キハ通常二回ニ行ヒ第一回ニテ石鹼及汚垢ノ大略ヲ洗滌シ第二回ニ於テ清
洗スヘシ

ハ 若シ石鹼ヲ能ク洗滌セサルトキハ汚垢附著シ易キヲ以テ注意スヘシ

六 乾方ニ付テハ左ノ如クナルヘシ

- 六 イ 洗濯物ハ之ヲ固ク絞リ皺ヲ伸シ物干繩ニ掛ケ風ニ舞ハサル如クスヘシ
ロ 干場ノ一端ヨリ規則正シク使用シ他人ノモノト混同セサル如ク要スレハ氏名札ヲ附着スヘシ

- ハ 火ニテ乾ストキハ焦ササル如ク注意スヘシ
七 乾燥後ニ於テハ左ノ如ク注意ヲ爲スヘシ

- 三 破綻アレハ之ヲ修理シ鈕「ホツク」ノ脱落アレハ必ス之ヲ附着スヘシ
ロ 片布ハ其ノ標記ヲ明瞭ニスヘシ
ハ 洗濯後ハ必ス前項ノ注意ヲ爲シ着用ニ際シ實用ト美觀トヲ害ハサルコト肝要ナリ

七 著裝ニ關シ注意スヘキ事項

- 一 背囊ニ器具及被服ヲ附著スルコトニ就テ

- イ 外套ハ其ノ兩端末ヲ背囊ノ下端ヨリ指一本ノ幅丈短カカラシムルコト
ロ 外套ハ片布ノ露出セサル如ク又中央ノ凸起セサル如ク卷クコト
ハ 靴ハ其ノ踵ヲ背囊ノ下端ト齊等シ靴締革ハ之ヲ踵ニ接著セシメ其ノ尾錠ヲ背囊ノ蓋ニ接近セシムル如クシ外側ニ出スヘカラス
ニ 靴ノ脱落ヲ豫防スル爲メ其ノ紐ヲ外部ニ露出セサル如ク背囊ノ締革ニ結著シ置クヘシ
ホ 方匙ハ其ノ柄ヲ垂直ニ(寧ロ内方ニ傾クトモ決シテ外方ニ傾ク可カラス)小斧小十字鍬ハ其ノ柄ヲ水平ニシテ背囊ノ上端ニ接セシメ共ニ堅固ニ附著スヘシ
器具ノ締革ハ規定ノ方法ニ違ハサル如ク注意スヘシ
ハ 携帶天幕ヲ附著スルトキハ其ノ縫目ヲ外方ニ現ササル如クシ又其ノ卷方ハ外套ノ卷方ニ準シ其ノ端末ヲ下方ニ向ハシメ且ツ内方ニセシムヘシ
二 背囊ノ重量ハ之ヲ兩肩平均ニ分配スルコト必要ナリ之カ爲メ内容品ノ收容ニ注意シ

又背部ニ接著スル部面ハ襦袢ノ如キ柔軟ナルモノヲ平等ニ置キ成ルヘク凸起セサル如クスヘシ

三 背囊ハ之ヲ左右ニ傾ケサル如ク負フヘシ之カ爲メ負革ノ長サヲ同一ニシ脇革モ亦其ノ長サヲ同一ニスル爲メ尾錠ヲ止ムヘキ穴ヲ同位置ニシ常ニ背囊ヲ同一高度ニ保タシムル如ク各自其ノ位置ヲ記憶スルコト必要ナリ又背囊ノ釵金ハ左右混用スルコトナク釣革末端ノ留革ニ正シク裝著シテ彈藥盒兩環革ノ中間ニ位置シ且ツ釣革ハ左右同高ナルヲ要ス

四 背囊釵鈕ノ位置ハ背囊ヲ正シク負ヒタルトキ上衣ノ第二釵ト略、同高ナルヲ適度トス

五 背囊ノ締革ハ上部ノモノト左右ノモノト混用セサルコトニ注意スヘシ

六 雜囊ハ之ヲ著裝前ニ於テ外觀ヲ害セサル如ク内容品ヲ整へ内部留革ヲ掛ケ其ノ兩側面ノ「ホツク」ヲ裝シ蓋ノ留革ハ内容品ノ有無ニ關セス其ノ最末端ノ穴ニテ止ムルヲ

可トス

七 雜囊ハ之ヲ肩ニ掛ケタルトキ其ノ紐ハ中間ノ吊紐ト一致シ雜囊ノ後端ハ臀部ノ中央ニアラシムルヲ適度トス

八 水筒ハ其ノ口ヲ雜囊ノ上縁ト同高ニシ其ノ位置ヲ雜囊前半部ノ中央ニ其ノ前縁ト略、平行スル如ク吊垂スルヲ可トス

九 水筒雜囊ハ其ノ紐ヲ竝ヘ水筒ノ紐ハ之ヲ上方ニシ上衣第二釵ノ附近ヲ通過セシメ帶革ヲ其ノ上ニ帶フ

十 襦袢袴下ニ就テ

イ 下著類ハ過小ナルヨリ寧ろ過大ニシテ諸種ノ運動ヲ牽束スルコトナク且ツ著裝ノ心地ヨキハ身體ニ適合セル證ナリ

ロ 襦袢ハ釵ノ線ヲ體ノ中央ニ置キ裾部ノ餘裕ヲ平等ニ配布シテ臀圍ヲ包容スル如ク著裝シ又其ノ袖口ハ衣ノ袖口ヨリ僅カニ長キ(二三分)ヲ適當トス

ハ 袴下ハ臀縫目ヲ脊椎骨ノ下方ニ副ハシメ又前明ノ打合セモ中庸ヲ保ツ如ク著裝シ其ノ紐ハ大ナル結節ヲ作ラサル如ク適度ニ緊ムヘシ

十一 衣袴ニ就テ

イ 衣袴ハ著裝保存及衛生等ヲ顧慮シテ製作セルモノナレハ過度ニ身體ニ適合セシメントシ縮小スルカ如キハ大ナル過ナリ一般ニ稍寛裕ナルヲ可トス

ロ 襟ノ前端ハ能ク接合部ハ左右ニ偏セス襟ト頭トノ間ニハ適度ノ餘裕(二指ヲ自由ニ挿入シ得ルヲ度トス)ヲ存シ衣ノ總長ハ臑骨上端ヨリ下ルコト四寸(夏衣ハ二寸)ニシテ袖ノ長サハ腕關節ノ突起部ニ至ルヘシ

ハ 胴廻リハ稍々大ナルヘク袖付ノ腕穴ハ大小適度ニシテ筋肉ヲ緊縛セサルヘシ

ニ 袴ハ自然ニ下方ニ垂下シ爲ニ袖口ヲ毀損スルモノナレハ股下ハ必ス各自ノ尺寸ニ適合スルヲ要ス

ホ 袴ノ腰卷圍ハ能ク體ニ跨割ハ能ク縫際部ニ接著シ其ノ總長ハ後方靴踵上際ニ至ル(三四分)ニ至リ前方ハ靴ノ甲ニ達スルヲ適度トス

ヘ 帶劍ノ際生スル胴圍ノ皺ハ左右腋下ノ稍後方ニ於テ襞積シ其ノ折目ヲ後方ニ向ハシムヘシ

ト 袴ヲ裝著スルハ前明ノ打合セヲ體ノ中央ニシ適度ニ緊革ヲ帶ヒ皺襞ヲ臀部ニ纏ムヘシ

チ 脚絆ヲ著スルトキハ裾部ヲ踝骨上ニ引上ケ膝ノ屈伸ニ自由ナルヘク且ツ其ノ周圍ノ餘裕ハ外側縫目ニ當ル所ニテ集收シ襞積トナシ其ノ折目ヲ後方ニ向ハシムヘシ

十二 脚絆ニ就テ

イ 脚絆上下端末ハ双方共同高ナルヘシ

ロ 卷脚絆ハ常ニ同一ノ方法ヲ以テ著用スルトキハ自然ニ脚ニ適合スルニ至ルモ

ノナレハ兩脚共常ニ同一ノ方向ニ纏用シ其ノ端末ハ外觀上袴ノ外側縫目ノ附近ニ在ラシムルヲ可トス

ハ 麻脚絆ヲ著用スルトキハ其ノ下端ヲ靴ノ月型革ノ三分ノ二以上ヲ掩フ如クナルヘシ

ニ 凡テ脚絆ヲ著スルトキハ袴ノ下部ヲ少シク上ケ側章ノ直後ニ於テ襞積シ其ノ折目ヲ後方ニ向ハシメ側章ヲ眞直ニシ以テ内袴ノ方ニ皺ノ出來サル様注意スヘシ

十三 帽子ニ就テ

イ 帽子ハ其ノ著装ノ如何ニヨリ自己ノ品性ヲ表彰スルモノナレハ前後左右ニ偏傾セサル如ク正シク著装スヘシ

ロ 帽ハ能ク頭ニ適合シ前庇ノ下端ヲ以テ眉ヲ覆ヒ其ノ下縁ハ水平ニ近カルヘシ

ハ 頤紐ヲ以テ徽章ヲ蔽ハサル如クシ徽章一星ノ一光線ヲ正シク垂直ニ帽ニ附著スルコト)ヲ正シク星ノ線ニ一致セシメ且ツ曲ラサルヲ要ス

ニ 頤紐ヲ用フルトキハ適度(二指挿入シ得ルヲ度トス)ニ之ヲ緊縮スヘシ

十四 諸徽章ハ定位置ニシテ其ノ縫著壓定正シカルヘシ

イ 外套ノ總長ハ靴踵ノ上際ヲ距ルコト大凡ソ八寸ニシテ袖ノ長サハ腕關節ヲ過クルコト約一寸五分ナルヲ適度トス

ロ 帶劍ニ際シ注意スヘキ事項ハ上衣ニ同シ

十六 襟布ニ就テ

イ 襟布ハ裝飾ト襟ノ汚損ヲ豫防スルモノナルヲ以テ常ニ必ス之ヲ用フヘキモノトス

ロ 襟布ヲ著スル爲メ折合スレハ襟ノ高サヨリ稍廣ク下縁ノ部ヨリ折疊シ尖頂

ヲ若干殘シ置クヘシ

ハ 襟布ヲ著裝スルニハ上衣ノ襟ノ上端ヨリ約一分現出スル如ク頸圍ニ纏ヒ其ノ尖頂ノ部ヲ背ニ垂下シ兩端ヲ襟ノ接合部ニ於テ振回シ端末ヲ胸ニ垂下セシムルヲ可トス

十七 靴ニ就テ

イ 靴ヲ穿ツニハ摘革或ハ指頭ノ媒介ニ由リ正シク足ヲ挿入セサルヘカラス然ルニ月型ノ上部ヲ内方ニ踏ミ込ムカ如キハ此ノ方則ヲ守ラサルニ起因シ畢竟靴ヲ粗略ニ取扱フノ結果ニ外ナラサルヲ以テ特ニ此ノ點ニ注意スルヲ要ス又革ノ硬キ靴ヲ穿ツトキハ必ス靴傷ヲ生スルヲ以テ已ムヲ得ス之ヲ穿ツトキハ必ス先ツ塗脂スルヲ可トス

ロ 靴ハ新品ノ時代ニ於テ穿用ニ注意シ其ノ形狀ヲ保全セサルハ初メニ生セル所ノ曲癖ハ殆ト回復セシムルニ困難ニシテ又之ニ原因シテ靴傷ヲ生シ不慮ノ害

ヲ醸スヲ以テ其ノ穿用ニ注意スルヲ要ス又交互ニ穿用シテ其ノ革ヲ硬固ナラシメサル如クスヘシ

ハ 靴紐ヲ通スレハ其ノ一端ヲ以テ鳩目ノ全部ニ貫通（鳩目、最下端ノ内部ヨリ始ム）シ他端ヲ其ノ内部ヨリ鳩目ノ一ニ通スルヲ可トス是レ其ノ締リ具合確實ニシテ又之ヲ開放スルニモ便ナレハナリ

ニ 編上靴又ハ短靴ハ專ラ紐ニ依リ穿用スルモノナルヲ以テ其ノ締方ヲ確實ニセサレハ足蹠常ニ前方ニ突出シ爪底ヲ磨擦スルノミナラス「アヒルス」蹠（踵ノ兩側）ヲ擦過シ靴傷ヲ生ス殊ニ編上式ニ於テ然リトス其ノ方法ハ短靴ニ於ケル如ク甲ノ高部ニ於テ緊縮シ足附關節ハ成ルハク寛裕ニシ同部ノ運動ニ障害ナカラシムルヲ要ス若シ之ニ反シ同部ヲ緊縛セハ屈伸ノ自由ヲ失ヒ忽チ疲勞ヲ感スルニ至ルヘシ之レ同部ハ足ノ運動上重要ナル點ナレハナリ

十八 靴下ニ就テ

著裝ニ關シ注意スヘキ事項

三〇六

- イ 靴下ハ靴傷ノ豫防竝ニ冬季ニ於ケル足ノ保温上必要ナルノミナラス靴内部ノ清潔ヲ保持スルニ有利ナルヲ以テ常ニ著用スヘキモノトス
- ロ 著用ニ際シテハ皺襞ヲ生セサル如ク注意スヘシ
- ハ 縫際アルモノハ表裏反覆シテ用フルヲ可トス
- ニ 洗濯ヲナセシモノハ乾燥後揉軟ナラシメ用フルヲ可トス

初年兵教育終

大正二年十二月二十日印刷
大正二年十二月二十五日發行

(定價金五拾錢)

編者 士 峰 生

發行兼印刷者 東京市麴町區隼町四番地 小林 又 七

印刷所 東京市麴町區永田町陸軍省構内 小林 印刷所 (電話新橋九四一番)

不許複製

發行所

東京市麴町區隼町四番地 川流堂 小林 又 七

電話新橋三九八〇番
電話新橋一六二九番
振替口座東京二九六番
電信略號〇コ

陸軍少將大庭二郎閣下講述

第五版

步兵操典講話上卷

綱領第一部

菊版總クローズ製
壹冊定價金八拾錢
送料金八錢

陸軍少將大庭二郎閣下講述

第二版

步兵操典講話下卷

第二部

菊版總クローズ製
壹冊定價金壹圓
送料金八錢

弊店曩に帝國在郷軍人會本部の命を受けて步兵操典講話の上卷を出版するや、好評湧くが如く、忽にして第五版を重ね、今も猶申込み續々絶へざると共に、速に第二部を出版せんことを要求せらるゝ頗る切なり、在郷軍人會本部亦此要求を諒とせられ、講述者に請ふて原稿を完成し、之が出版を弊店に命せらるゝや數日ならずして再版發行するに至れり、步兵操典に關する著書中の權威たる本講話は、第二部に至つて愈々其光彩を發揮し來れり、請ふ之を事實に徹せられん事を。

武章生新著

理想の中隊家庭

菊判約貳百五拾頁
定價金六拾錢
郵税金六錢

本書ハ軍隊内務書のノ主義精神ニ基キ隊附將校ノ常ニ苦心焦慮セララルル「如何ニシテ理想ノ中隊家庭ヲ作ルカ」ノ研究ニ對シ解決ヲ與ヘラレタルモノニシテ是非一讀セサルヘカラサル要著ナリ
雲外居士新著

菊版半折金文字入綠色洋布製本

紙數約八百餘頁 紙質純良薄紙

定價金九拾錢 郵税八錢

纂註 野外要務令

著作ノ領色
本書ハ野外要務令全文ヲ五號活字ニテ掲載シ要務令ノ各條項ヲ説明的ニ且少用兵諸原則ヲ對照的ニ六號活字ニテ纂註ヲ加ヘタルモノナリ此纂註ハ諸兵家ノ用兵所論ヲ或ハ用兵原則ノ詳論ヲ或ハ戰史例證ヲ或ハ判斷命令計畫ノ實施法等モ野外師兵術ニ關スルモノハ遺憾ナク説述セリ
本書一本ニシテ野外要務令ヲ遺憾ナク研究シ得ルト同時ニ各種用兵法ヲ要務令ト對照的ニ研究シ得ル
携帶便利ニシテ野外演習並ニ戰術實施必携タルヘシ

特効
野外要務令ハ陸軍々人ノ必須物ナリ用兵學ハ將校ノ一日モ忘ルヘカラサルモノナリ即チ軍令ヲ以テ規定セ
ラレタル要務令ト學習原理ノ用兵法トヲ兼備セル本書ハ陸軍將校全員ニ需用セララルルハ當然ナラン
陸軍大學志望將校教育ノ必要ナル今日ニ於テ該將校ノ爲メニハ無二ノ教科書タラン
陸軍教育ニ任スル教官ノ爲メニハ輕便ナル參考書タラン

効益
陸軍大學志望將校教育ノ必要ナル今日ニ於テ該將校ノ爲メニハ無二ノ教科書タラン

教育總監陸軍大將男爵淺田信興閣下題辭
陸軍大學校兵學教官陸軍步兵中佐吉岡顯作殿校訂
陸軍大學校教官陸軍教授司馬亨太郎殿譯

最新 初級戰術學理

全貳冊

菊池「クローズ」金文字入本綴
定價 金壹圓八拾錢
送料 金拾六錢

本書ハ獨逸國陸軍士官學校教科用トシテ同國教育總監部ニ於テ編纂セラレタルモノニシテ戰術上ノ原則ヲ詳述シ之レヲ證スルニ古今ノ戰例ヲ以テシ初級將校ノ爲メ最モ有益ナル參考書ナリ本學會曩ニ同國教育總監部ノ許諾ヲ受ケ之ヲ翻譯シ吉岡步兵中佐ノ嚴密ナル校訂ヲ經テ以テ汎ク我が青年將校ノ戰術研究ノ資料ニ供セント欲シ豫約募集ヲ發表スルヤ幸ニ多大ノ歡迎ヲ受ケタルハ本會ノ光榮トスル處ナリ今ヤ第一卷ノ印刷漸ク終リ第二卷ハ翻譯已ニ就リテ目下校訂中ニ在リ篤學ノ諸君子願ハクハ一讀ノ榮ヲ給ハンコトヲ

參謀本部 陸地測量部御發行地圖

▲定價表

二萬分一地圖	金七錢五厘	二十萬分一帝國圖(四色刷)	金拾五錢
二萬分一迅速測圖	同	一萬分一東京假製地圖(二色刷)	金七錢五厘
二萬分一假製地形圖	同	百萬分一東亞輿地圖	金拾貳錢
五萬分一地形圖	同	同	金七錢五厘
同 三色刷	同	假製二十萬分一臺灣圖	金七錢五厘
二十萬分一輯製圖	金七錢五厘	朝鮮五萬分一地圖	金七錢五厘

割引歩合同一需用者ニ對シ
百枚以下定價ノ一割引
百枚以上定價ノ一割引
五百枚以上定價ノ一割引
目錄御所要ノ方ハ二錢郵券封入御申
込次第送付可仕候

寫圖練習用方眼紙

種類及定價	第一種	第二種	第三種
甲	二萬分一ヲ五千分一ニ伸寫 壹枚金壹錢五厘	二萬分一ヲ二萬分一ニ伸寫 壹枚金八厘	二萬分一ヲ二萬分一ニ伸寫 壹枚金壹錢五厘
乙	一萬分一ヲ一萬分一ニ伸寫 同 金壹錢五厘	二萬分一ヲ一萬分一ニ伸寫 同 金八厘	二萬分一ヲ一萬分一ニ伸寫 同 金壹錢五厘
丙	一萬分一ヲ二萬分一ニ縮寫 同 金壹錢五厘	五萬分一ヲ二萬分一ニ伸寫 同 金壹錢五厘	五萬分一ヲ一萬分一ニ伸寫 同 金壹錢五厘
丁	註配及記號學習 同 金壹錢五厘	一萬分一ヲ二萬分一ニ縮寫 同 金壹錢五厘	一萬分一ヲ五千分一ニ伸寫 同 金壹錢五厘

池邊義象、阪正臣、金子元臣、久保天隨
武島羽衣、各先生及詩歌

名波芝蘭先生著

◎最新刊

滑稽笑門福來

三五判 頭美本
定價金 參拾五錢
郵税金 四錢

本書の名はよく内容を知るべし、著者名を署して「名波芝蘭」といふ。或人以て「大日本者神國也」の著者丸山正彦先生の匿名をたす。うそかまことか、刊行者また之を知らず、彼れやその文讀嚴莊重、此れや圓轉洒脫、一讀三笑、胸開き、體ゆたかに、心廣く、おのづから福來る、家庭の讀物、忙中の慰藉、鎖閉の良友、羈旅の伴侶として最も妙也、老若之を手にすれば、貧乏よけの護符となり、貴賤之を口にすれば、福來の瑞兆となる、是非々々購讀をすゝめまつる

武士道文庫

(全部拾冊)

◎最新刊

古今英雄豪傑心事集

菊半裁判 美本
正價 壹冊金拾錢
送料 壹冊金貳錢

本書は弊堂が多年武士道の研鑽に従事せられたる士に請ひて説述せられたるものなり其の緒言に曰く
古來時代の變遷に従ひ英雄豪傑と稱せられたる者續出し其の心事に於て範を後世に残せし事又夥なから
す今や我が大日本帝國は最近數度の戰役に於て皇威國光を海外に耀し世界一等國の列に伍し益々日進
月歩を要求して止まざるの時機が大和民族として特有なる武士道の神髓所謂大和魂なるものの研究に
従事する必要なしとせず本書は斯に
明治天皇の御聖訓なる軍人精神即ち武士道たり又大和魂として具備すべき忠節、武勇、禮儀、信義、實
素の五美德を網羅し古今を通して我が國に於て英雄豪傑と稱せられたる者の心事にして此の美德に
適する諸件を網羅して説述したるものとす
其の内容斯の如くにして其の精神のある所亦明なり而して説く處誠に懇切丁寧何人をして之れを會得
し易からしむ故に軍人諸賢は勿論我が一般人士の家庭必備の最良書なり請ふ幸に購讀あらんことを乞ふ

318
287

終

